

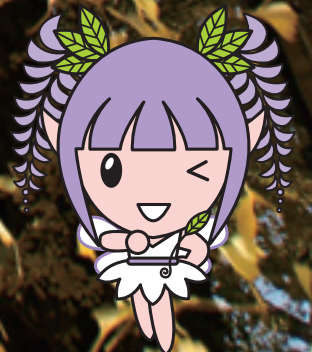
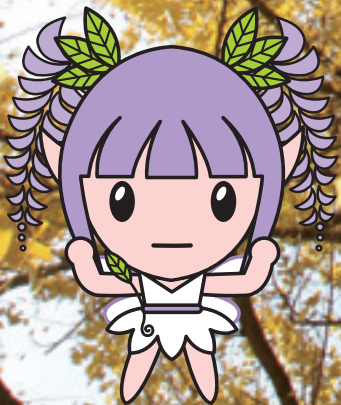
平成26年度 石井町

わかりやすい予算書



もつと知りたい石井町

太陽と緑の環境都市いしい



目次

●石井町長 河野 俊明	3
●石井町の当初予算について	10
●平成26年度の重点施策	13
●平成26年度の主な事業	
総務課	14
長寿社会課	15
保健センター	16
税務課	17
建設課	18
いきいき農業振興課	19
農業委員会	19
福祉生活課	20
出納課	21
住民課	22
財政課	22
教育委員会	23
学校教育課	24
社会教育課	28
わくわく観光情報課	32
いのちを守る防災・危機対策課	34
給食センター	35
すくすく子育て課	38
清掃センター	39
議会事務局	40
水道課	41
●町内で活躍する各種団体紹介	42
●お問い合わせ先一覧	54
●石井町ふるさと会	55

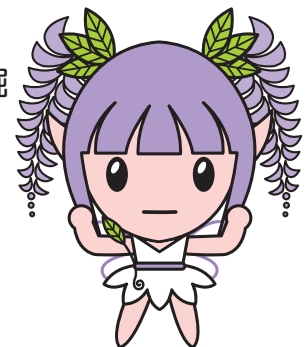


今年のテーマは

いいい いきいき健康家族 20の政策！

石井町長
河野 俊明

- 1 財政の健全化を、より一層進めます
- 2 人口増政策（若者の働く場所の確保ー企業誘致）
町長は動くセールスマン
昨年から今年にかけて13社の企業を訪問／3社と協議中です
- 3 県との重要課題を進めます
- 4 防災対策
消防詰所の改築…西覚円・上浦・諏訪・中須・第十の5カ所
- 5 石井ふじっこちゃんわくわく土曜日（マルシェ）の開催
（毎月第4土曜日にフジグラン石井店で開催しています）
- 6 消費税増税対策として「阿波とくしま・商品券」の発売
- 7 吉野川第十堰河川敷公園（かわまちづくり）（国庫補助）の推進
- 8 土曜日授業を年9回実施
- 9 中学校卒業までの医療費無料を継続します
- 10 石井西認定こども園（高原地区）の新設
- 11 高川原学童保育施設の増築
- 12 忠勇跡地にコンビニ（セブンイレブン）誘致決定
藍畑公民館、老人憩の家を移転新設
- 13 「古代遺跡の町」をアピール、学ヶ丘「山ノ神古墳」の発掘
- 14 今年も町長交際費は0円です
- 15 都市計画の線引きの見直しを進めます
- 16 町制施行60周年・新庁舎落成記念行事
- 17 火葬場建設予定地（案）
- 18 石井町長政治倫理条例（案）
- 19 関東・関西ふるさと会（ふじっこちゃん会）の設立を計画
- 20 徳島県と協力し「農大跡地」に「徳島大学新学部」の設置を進めます



平成26年9月1日現在、町長が就任している委員・役職など

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| ・飯尾川改修促進期成同盟会 会長 | ・徳島県国民健康保険団体連合会 理事 |
| ・吉野川下流水防連絡会 会長 | ・徳島県交通安全対策会議 委員 |
| ・吉野川改修促進協力会 会長 | ・石井町社会福祉協議会 会長 |
| ・第十堰対策促進期成同盟会 副会長 | ・石井町体育協会 会長 |
| ・徳島県市町村議会議員公務災害補償等組合 議員 | ・徳島県町村会 副会長 |

「夕張市のようにならないように」 との思いで頑張った成果が 100億円です!!



我が町の財政

石井町

平成19年度～25年度の7年間での財政効果約100億円以上

- ① 地方債残高（借金）
平成18年度（94.5億円）→平成25年度（60億円）＝**34.5億円の減少**
 - ② 基金（預金）
平成18年度（33.4億円）→平成25年度（50.5億円）＝**17.1億円の増加**
 - ③ 各種経費の削減
「ゴミ収集委託金・ダイオキシン検査料等」**約30億円の削減**
「職員数23人減」人件費 **約10.4億円の削減**
 - ④ 入札差額 **約10億円の削減**（新庁舎（本体工事）は入札差金だけで建設できています）
- 合計 約100億円以上、改善しています。

一人当たりの借金が少ない自治体

1位 松茂町（99千円）

2位 藍住町（197千円）

3位 北島町（271千円）

4位 石井町（275千円）

一人当たりの借金が多い自治体

1位 那賀町（1,620千円）

2位 上勝町（1,531千円）

3位 三好市（1,413千円）

4位 佐那河内村（1,114千円）

（平成23年度市町村財政概要（平成22年度決算値より））

県内24市町村のうち4番目に（1人当たりの）借金が少ない健全財政です。

国・県・徳島市との重要政策の打合せ！

国土交通省関係

- 1 国道192号線、鮎喰～鴨島間の歩道帯新設について
- 2 第十堰のコンクリートを青石に敷替補強について
- 3 角ノ瀬排水機場の20 t ポンプの増設について
- 4 第十堰～六条大橋の河川敷公園(かわまちづくり)
- 5 飯尾川改修の促進(渡内川・神宮入江川等)



徳島県飯泉知事に要望（平成26年5月14日）

- 1 線引きの見直しについて
・ 東部地区として見直しを検討していく
- 2 農大跡地の有効利用について
・ 徳島大学新学部（農工商連携）を設置できるよう共に協力して働きかけていく
- 3 企業誘致に対し、県からの応援
・ 昨年から石井町独自に企業訪問を13社実施、県の補助金や応援体制の協力依頼
- 4 県道3路線の事業化について
石井～引田線のうち役場前から国道まで
新童学寺トンネルから百姓一まで
農大跡地から国道まで
- 5 河川改修について
渡内川ほか、内水の改修、堆積土砂の撤去
麻名用水堰の撤去とポンプ場（地下水に影響を与えない工法で）



3路線の事業化
(石井ミニ環状線)



徳島市原市長に要望（平成26年7月14日）

- 1 災害時における徳島市と石井町との相互援助協定について
- 2 観光事業の共有化について
(阿波おどり、藤まつりなどの共催)
- 3 スポーツ事業の共有化について
(市体育館、四銀いしいドームの相互利用について)
- 4 水道事業について

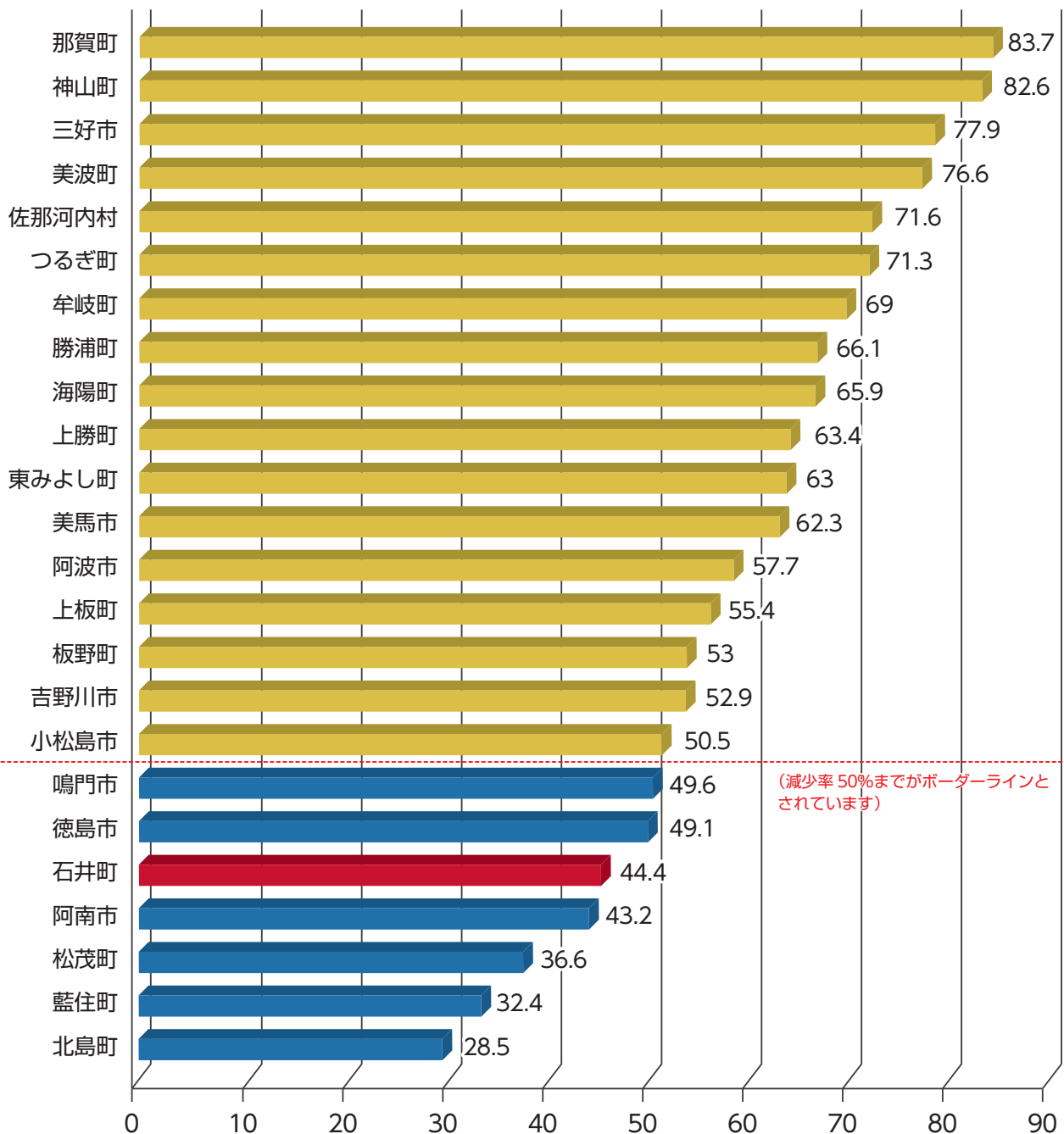


523 の自治体が消滅の危機

日本創成会議は、2040年には全国の半数にあたる896の市区町村で20～39歳の女性の数が半数以下に減り、このうち523の自治体では人口が1万人未満となり「消滅の危機」に直面すると発表しています。

20～39歳女性人口の減少率(2010から2040年)

国立社会保障・人口問題研究所の人口推計を前提とし、
さらに人口移動率が収束しないとする仮定の場合



※参考：全国市区町村別「20～39歳女性」の将来推計人口（日本創成会議）

石井町は県内で5番目の減少率で、44.4%とされています。

7年間の改革（平成19年～平成26年）

石井町が元気になる政策

- 1 石井町ふじっこちゃん夏祭りを開催（石井中学校からOKいしいパーク（飯尾川公園）へ）
たくさんのお客様が町内外から来るようになりました。
- 2 ほなけん石井イルミネーション
石井町の冬場の一大イベントとして、OKいしいパーク（飯尾川公園）を彩ります。（12月上旬～1月上旬）
- 3 石井ふじっこちゃんわくわく土曜日（マルシェ）を開催
毎月第4土曜日（午前9時から午後5時まで）フジグラン石井店特設会場にて、新鮮野菜や特産品を販売しています。
- 4 高浦中学校に新しい体育館を建設
- 5 町内全ての小・中学校の耐震補強が完了し、エアコンを設置

幸せの町・石井町（しあわせの三寺めぐり）をPRし、新名所に！

- 1 地福寺（福が訪れる寺）、樹齢200年以上の藤の名所。
- 2 徳蔵寺（徳を授かる寺）、新四国さん（四国三二八十八カ所）と呼ばれています。
- 3 童学寺（学を授かる寺）弘法大師が幼い頃学び「いろは四十八文字」を創設したと伝えられています。本堂の裏には、飲むと健康になるといわれる岩清水が湧き出ています。

その他にも…

- 防災応援団の結成（災害時に企業の敷地、物資、重機、社宅などの応援を受ける協定）
- 自主防災組織連絡協議会を設立（災害時に石井町全体で行動できるような組織）
- 住民の声を町政に！ミニタウン集会（出前役場）を平成19年度より町内5カ所で開催しています。



福山守衆議院議員と



徳島県幹部職員との打合せ



OKいしいパーク（飯尾川公園）10周年記念事業



飯泉知事に要望活動



加減堰撤去工事鍬入れ式



日独スポーツ少年団交流

県内24市町村のうち、一番改革が進んでいます

お年寄りが元気で住みやすい町づくり

- 1 すべてのがん検診を無料で実施しています。
- 2 高齢者肺炎球菌ワクチンを県内で石井町だけ無料接種しています。(平成26年9月末まで) 10月からは、定期接種年齢に該当する75歳以上の方は無料となります。
- 3 お年寄りの生きがいづくりをしています。
(敬老会、健康まつり、老人大学などの実施・石井町藤クラブ(老人クラブ)等)

子育て応援日本一の政策

- 1 第2子以降の保育料は無料です。(要件があります)
- 2 中学校卒業まで医療費は無料です。(要件があります)
- 3 預かり保育時間(公立)は、午前7時30分から午後7時までです。
- 4 出産祝金を贈ります。(平成27年1月1日より実施予定)
1月1日以降に生まれたお子さんから支給対象になり、石井町での居住要件が必要です。
第1子：3万円
第2子：5万円
第3子以降：10万円 } ふじっこちゃんぬいぐるみをプレゼントします。
- 5 本を通じて親子の絆を深めてもらうため、生後4・5ヵ月児に絵本を贈ります。(ブックスタート事業)
- 6 給食費の15円/食を補助、米飯給食では栄養価の高い金芽米を使用しています。
- 7 石井町で婚姻届を出された方に結婚証を交付しています。全国どこからでも受け付けています。(戸籍謄本等、添付書類が必要です)
幸せの結婚証入りボックス：ふじっこちゃんストラップ、メモ帳、ミニタオル、観光パンフレットなどが入っています。



町内一斉清掃



「うぐいす春夫先生と歩く!!ウォーキング大会」(あすなる会主催)



「知事と歩く桜ウォーク」(四季の会主催)



車椅子のアーティスト佐野有美さんによる人権教育講演会



河川一斉清掃の日



みらいフェスタ in いい

石井町ってこんなにスバラシイ!!

●素晴らしい職員

- 1 災害にあった自治体にグループで奉仕作業に行きました。
- 2 毎日の掃除は自分たちで！
(トイレ、フロアの掃除等は職員自身で行っています)
- 3 窓口案内は、職員が交代でご案内しています。
- 4 職員が役場周辺のゴミ拾いをしています。



トイレ掃除



清掃活動



災害復旧支援活動

和歌山県田辺市 (平成23年度)



徳島県海陽町 (平成26年度)

●お世話になります♪

心が癒やされます



嵯峨御流 藤田千恵甫様



嵯峨御流 今治豊甫様

石井町が土曜授業

14年度から月1回、小中全校
県内公立初の復活

石井町教育委員会、町立小中学校の校長が中心となり、土曜授業の復活を推進している。土曜授業は、令和2年度から令和3年度まで、毎月1回、土曜日の午前8時から午後2時までの間、小中全校で実施される。この取り組みは、地域の活性化や、子どもたちの学習意欲の向上を図るためである。また、地域の企業や団体と連携し、様々な体験活動や、社会貢献活動を実施する予定である。

保護者調査で賛成多く

町教育委員会では、土曜授業の復活について、保護者へのアンケート調査を実施した。その結果、賛成が過半数を占めた。また、土曜授業の復活により、子どもたちの学習意欲が向上し、地域の活性化につながることを期待している。

H25. 12. 3 掲載

石井町と福祉法人が協定

移動販売車で見守り・買い物支援

石井町と福祉法人が協定を結ぶ。移動販売車で見守り・買い物支援を行う。この取り組みは、高齢者の見守りや、買い物支援を行うためである。また、移動販売車の運行を支援し、高齢者の生活の質を向上させることを目指している。

H26. 4. 26 掲載



石井町、結婚届提出で新サレシス

ふしつちやんが祝福

石井町、結婚届提出で新サレシス。ふしつちやんが祝福。結婚届提出の増加に伴い、新サレシスのサービスが充実している。また、ふしつちやんが結婚を祝福し、新婚生活をサポートしている。

キャラ刻印の化粧箱贈る

石井町、結婚届提出で新サレシス。ふしつちやんが祝福。結婚届提出の増加に伴い、新サレシスのサービスが充実している。また、ふしつちやんが結婚を祝福し、新婚生活をサポートしている。

H26. 7. 3 掲載

石井町が清掃活動

清掃活動 住が清潔のまちづくり

石井町が清掃活動を実施。住が清潔のまちづくりを推進している。清掃活動は、地域の美化や、環境の改善を図るためである。また、住民の参加を促し、地域愛を醸成している。

H26. 5. 29 掲載

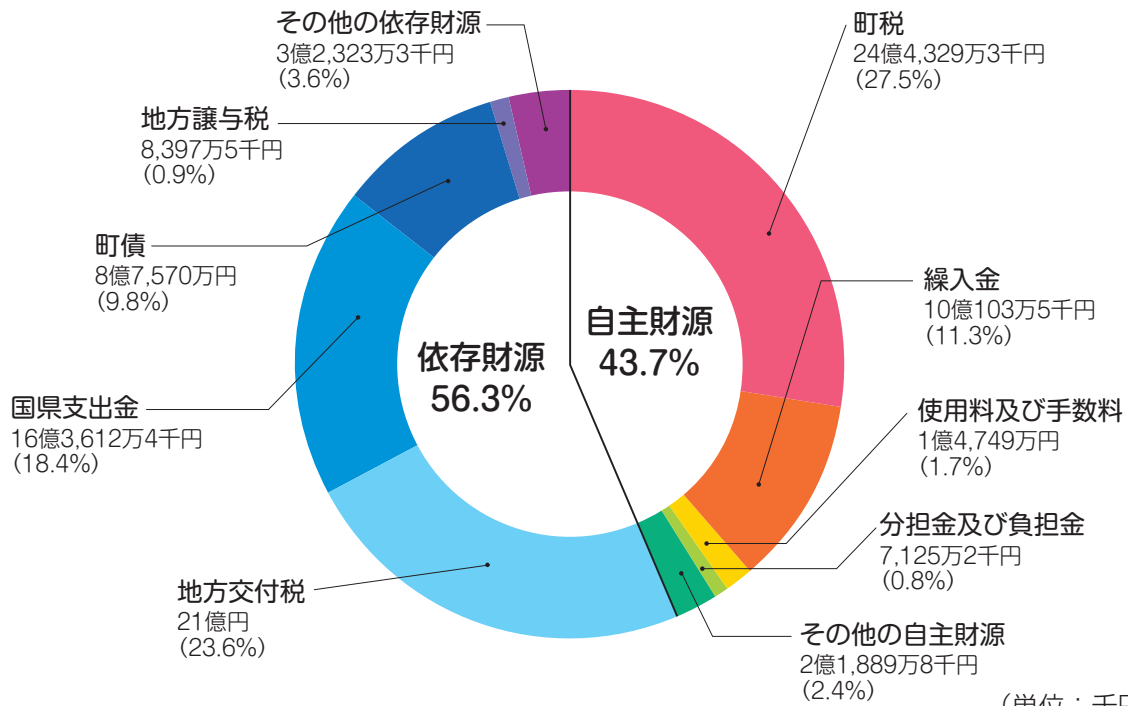
石井町、消防訓練

消防訓練 火災発生時の対応

石井町、消防訓練を実施。火災発生時の対応を訓練している。消防訓練は、住民の防災意識の向上や、消防隊員のスキルアップを図るためである。また、住民の参加を促し、地域愛を醸成している。

H26. 1. 13 掲載

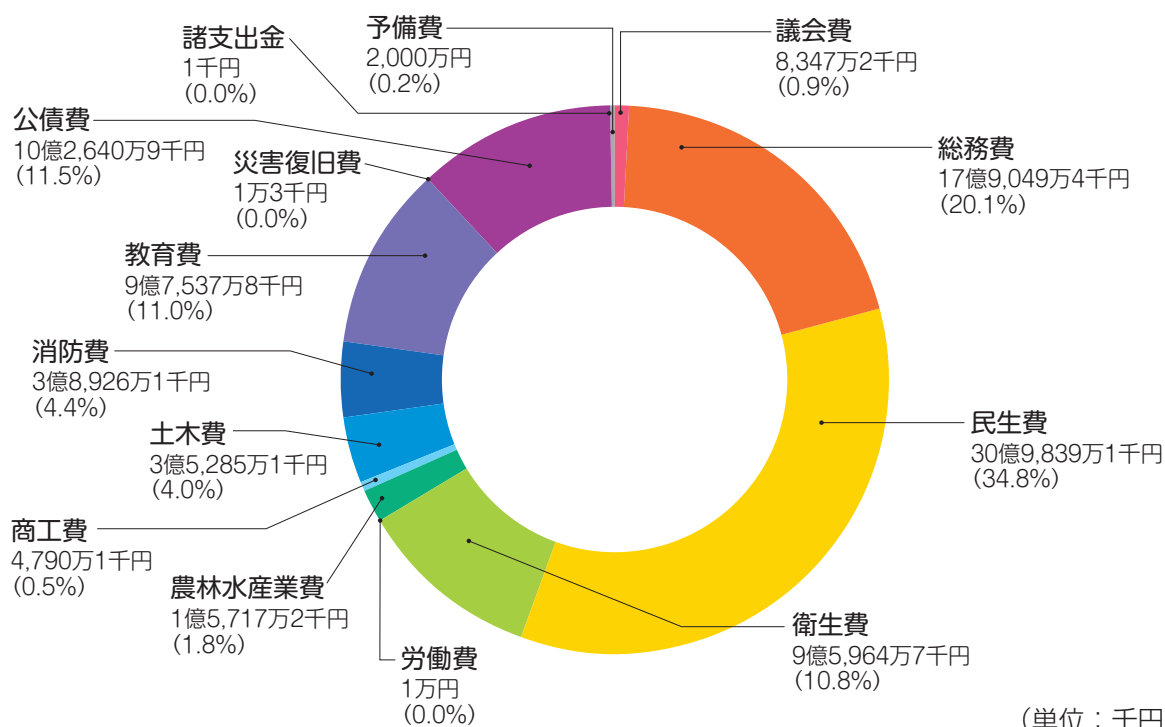
歳入予算



名称		説明	予算額	構成比	
自主財源	町税	町民の方などから納めていただく税金	2,443,293	27.5	
	繰入金	主に基金を取り崩して繰り入れるお金	1,001,035	11.3	
	使用料及び手数料	施設使用料や住民票交付手数料など	147,490	1.7	
	分担金及び負担金	私立保育園の保育料など	71,252	0.8	
	その他の自主財源		218,898	2.4	
	内訳	財産収入	土地の貸付収入や基金の運用利子など	2,033	0.0
		寄附金	ふるさと納税による寄附金など	101	0.0
		繰越金	前年度に余ったお金	20,000	0.2
		諸収入	他の科目に分類されない収入	196,764	2.2
	小計			3,881,968	43.7
依存財源	地方交付税	国が徴収した所得税などの一部から、一定水準の行政サービスが確保されるよう財政力に応じて、町に配分されるお金	2,100,000	23.6	
	国県支出金	特定の目的のために国や県から交付されるお金	1,636,124	18.4	
	町債	特定の目的のために国や銀行などから借り入れるお金	875,700	9.8	
	地方譲与税	国が徴収した自動車重量税などの一部から町に配分されるお金	83,975	0.9	
	その他の依存財源		323,233	3.6	
	内訳	地方消費税交付金	県が徴収した地方消費税の一部から町に配分されるお金	264,442	3.0
		地方特例交付金	国から特例的に交付されるお金	9,039	0.1
その他の交付金		利子割交付金や配当割交付金など県から一定の基準で町に交付されるお金	49,752	0.5	
小計			5,019,032	56.3	
合計			8,901,000	100.0	

会計当初予算

歳出予算



名称	説明	予算額	構成比
議会費	議員の報酬や議会の運営などのために使われるお金	83,472	0.9
総務費	事務機器や普通財産の管理、広報などに使われるお金	1,790,494	20.1
民生費	お年寄りや子どもなどのために使われるお金	3,098,391	34.8
衛生費	健康診査や予防接種、ごみ処理、し尿処理などのために使われるお金	959,647	10.8
労働費	職業相談などのために使われるお金	10	0.0
農林水産業費	農業の振興や農林道の管理などのために使われるお金	157,172	1.8
商工費	商工業の振興や観光宣伝などのために使われるお金	47,901	0.5
土木費	道路や都市公園、町営住宅などの整備や管理のために使われるお金	352,851	4.0
消防費	消防団や名西消防、災害対策などのために使われるお金	389,261	4.4
教育費	幼稚園や小中学校での教育、文化やスポーツの振興などのために使われるお金	975,378	11.0
災害復旧費	災害による道路や施設の被害を復旧するために使われるお金	13	0.0
公債費	町の借金の返済のために使われるお金	1,026,409	11.5
諸支出金	他の科目に分類されない支出	1	0.0
予備費	予算にない緊急な支出などに充てるためのお金	20,000	0.2
合計		8,901,000	100.0

石井町の当初予算

Q 平成26年度の石井町の当初予算の規模は？



A 一般会計は89億100万円です。5つの特別会計の合計は73億7,102万9千円です。その他に公営企業会計があります。

一般会計 89億100万円

一般的な公的サービスで構成される町を代表する会計です。

+

特別会計 73億7,102万9千円

特定の目的のために特別に設けられた会計です。

国民健康保険特別会計	32億8,997万4千円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	313万9千円
給与集中管理特別会計	12億4,016万4千円
後期高齢者医療特別会計	3億2,450万8千円
介護保険特別会計	25億1,324万4千円

公営企業会計は、民間企業と同じように、収益をあげながら運営する会計で、石井町では水道事業会計があります。

収益的収入 5億4,825万円

収益的支出 4億7,682万2千円

資本的収入 6,010万円

資本的支出 2億2,885万6千円

(資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、当年度分損益勘定留保資金及び減債積立金で補てんします。)

●事業系と事務系の参事を2人体制にし、重要課題を進めます。

町民の皆様が開かれた行政運営を徹底すると共に、対話を通じて相互理解と信頼関係を深めながら、引き続き公平で公正な町民主体のまちづくりを推進します。また、担当課を超え横断的に事務を取り扱い効率的な事務を実施していくと共に重要施策の円滑な推進を図ります。

1. 行政情報を積極的に分かりやすく提供します。
2. 町民の皆様の視点に立ったサービスの向上に努めます。
3. 石井町の個性や特色を生かした、石井町にふさわしい「幸せのまちづくり」を進めるため、目指すべき将来像を町民の皆様と共有し、その実現に向けた取り組みを行います。

平成26年度の重点施策

1 「認定こども園整備」(待機児童^{ゼロ}を早急に実現します)

就学前の子どもの保育並びに教育を担う町立保育所及び幼稚園は、老朽化が進んでおり、早急な施設整備が必要です。また、将来を見据えた、就学前保育・教育のあり方について検討していきます。



参事 遠藤 光宏

2 「火葬場整備」

高齢化社会の進展に伴い死亡者の増加が予想され、今後、一層の火葬需要が見込まれます。今後見込まれる火葬需要への対応など、住民の火葬に支障をきたすことのないよう、単独及び広域整備という多角的な視点より、火葬場の整備を検討します。

1 「新庁舎建設」(シンプルで災害に強い庁舎を建設します)

南海トラフによる大規模地震の発生が懸念されており、耐震性に劣り老朽化の著しい現庁舎を町民の皆様への安心・安全な暮らしを支え、皆様にも親しまれ、災害にも強く、行政サービスの向上と行政の効率化を目指した新庁舎を整備します。

2 「石井町地域防災計画策定」

従来の被害想定に基づいた防災計画の内容を改め、新たな被害想定に対応できる計画を策定します。また、要援護者対策などをより発展させた内容となるよう、実行性のある行動計画を策定します。

3 「農業大学校跡地利用」

旧徳島農業大学校については、季節を通して県民の憩いの場となり、本町の重要な観光資源にもなっています。徳島大学の新学部の誘致を第一とし、農業大学校の活用又は跡地利用の方法について公用・公共用又は公共の利益となるべき事業の用に供することができるよう徳島県並びに関係機関に要望していきます。



参事 黒川 浩

平成26年度の主な事業

総務課

平成26年度の重点施策

狭く耐震性に劣り老朽化の著しい現庁舎を、時代を見据え、全ての人に優しく快適で耐震性に優れ、行政サービスの向上と行政の効率化を目指した新庁舎を建設します。その他、職員の人事および給与、財産の管理、行政の総合的な企画及び連絡調整等の業務を担当しています。これからも「人」「地域」「町」「明日」とのつながりを大切にするまちづくりに職員一丸となって取り組んでいきます。



課長 木下 貴雄

■庁舎建設事業

9億2,777万4千円

(財源：町9億2,777万4千円)

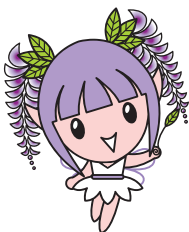
全ての来庁者にとって利用しやすい快適な庁舎の実現を目指すほか、地域コミュニティ活動のためのスペースを備え、また、災害対策本部としての役割を担える庁舎を建設します。

指名競争入札により、石井町内業者（40%）・県内大手業者（60%）の共同企業体が落札しています。

設計価格 12億4,645万円

落札価格 9億2,777万円

落札率 72.8%



■石井町地域振興事業補助金

530万円

(財源：町530万円)

地域の健全な発展を図るため、自治会が行う清掃、美観の維持や文化活動、交通安全、防犯、自主防災等の事業に対し、補助金（1世帯あたり1,000円）を交付し事業運営を支援しています。

■臨時福祉給付金支給事業

1億2,571万8千円

(財源：国1億2,571万8千円)

消費税率が8%へ引き上げられたことに伴い、所得の低い方への負担の影響に鑑み、暫定的・臨時的な措置として給付します。



新庁舎外観イメージ（平成26年12月完成予定）

長寿社会課

平成26年度の重点施策

高齢者が住み慣れた地域で元気に生活できるように、要介護状態となることを予防し、要介護状態となった場合でも可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう各種制度を活用して支援します。

また、介護保険のさまざまなサービスの利用、介護保険制度改正等に対応する必要なサービスが提供できるように、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を見直し、高齢者の生活を支援してまいります。



課長 岡田 匡範

敬老祝金

177万9千円

(財源：町177万9千円)

長寿を祝福するとともに、町民の敬老思想の高揚を図り、高齢者の福祉を増進するため、人生の節目を迎える高齢者の方に、敬老祝金をお贈りしています。

支給対象者は、9月30日において石井町に引き続き1年以上居住している満88歳の方、誕生日において石井町に引き続き1年以上居住している満100歳の方です。

二次予防事業対象者把握事業・通所型介護予防事業

414万2千円

(財源：国93万6千円、県46万7千円、町125万8千円、その他148万1千円)

高齢者が介護の必要な状態になることを予防するため、基本チェックリストで自己診断し、必要に応じ医師の診断を受診することにより、要支援・要介護状態になる危険性のある二次予防事業の対象者を決定します。

対象者に決定された方のうち、希望者は通所型介護予防のサービスを受けることができます。ただし、1回当たり550円にサービスの内容に応じて加算した利用料が必要です。

介護予防普及啓発事業

105万6千円

(財源：国23万7千円、県11万8千円、町32万1千円、その他38万円)

高齢者が介護の必要な状態になることを予防するため、65歳以上の二次予防事業の対象者に該当しない方に対し、総合介護予防教室を実施することにより、個別の相談に総合的に対応するとともに

に運動・助言等を行い、介護予防に役立つ基本的な知識の普及啓発に努めています。

ただし、1回当たり550円の利用料が必要です。

家族介護支援事業

93万6千円

(財源：国36万9千円、県18万4千円、町38万3千円)

介護保険の被保険者を介護している家族の方に、各種サービス（家族介護教室開催事業・家族介護用品支給事業・家族介護慰労事業）を提供することにより、介護している家族の身体的、精神的、経済的負担の軽減を図ると共に、在宅生活の継続、向上に努めています。

地域自立生活支援事業

1,128万4千円

(財源：国191万円、県95万5千円、町197万1千円、その他644万8千円)

要介護・要支援の認定を受けた65歳以上の高齢者のみの世帯で、栄養改善が必要な方に対し、日曜日・祝日を除く希望日のうち町が決定した日の夕食時に食事の配達をするとともに見守りを行います。

利用料は1食当たり500円（町民税課税世帯）または400円（町民税非課税世帯）です。



保健センター

平成26年度の重点施策

「自分の健康は自分で守る」の趣旨のもとに、町民の健康づくりを推進するため、保健センターを拠点とした保健予防活動を実施しています。

石井町は、すべてのがん検診を無料化としており、がんの早期発見・早期治療に役立てていただきたいと思います。



所長 足利 公祥

健康診査費

2,696万3千円

(財源：県68万円、町2,628万3千円)

がん・脳血管疾患・心疾患が死因の大半を占め医療費の増加の原因となっています。

そこで、壮年期からの健康づくりと生活習慣病の早期発見・早期治療のため、結核健康診断・肺がん・胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん・前立腺がん・肝炎ウイルス検診等全ての検診を無料で実施しています。

健康マイレージ事業

23万5千円

(財源：町23万5千円)

町民の自主的な健康づくりを支援し、町全体の健康意識を高めるため、個人の健康づくり目標や、健康づくりイベントへの参加をポイント化し、達成者には抽選のうえ景品をプレゼントしています。



がん検診推進事業

671万円

(財源：国207万3千円、町463万7千円)

国が定めた節目年齢の方に、乳がん・子宮頸がん及び大腸がん検診の無料クーポン券とがん検診手帳を送付し、がん検診の重要性や検診方法の理解を深めていただき、がんの予防・早期発見・早期治療に努めています。(全てのがん検診が無料です)

予防事業

6,395万1千円

(財源：町6,395万1千円)

感染症の発生や流行を予防するため、四種混合・三種混合・二種混合・日本脳炎・麻しん・風しん・麻しん風しん二種混合・ポリオ・Hib（ヒブ）感染症・小児の肺炎球菌感染症・ヒトパピローマウイルス感染症（子宮頸がん予防）・高齢者インフルエンザの予防接種を実施しています。

また、平成26年10月から水痘・高齢者用肺炎球菌の2種類のワクチンが定期接種に加わります。

高齢者用肺炎球菌予防接種は県内市町村では一律4,000円の自己負担金が必要ですが、当町では定期接種の対象となる75歳以上の方は無料とします。

結核予防事業

169万2千円

(財源：町169万2千円)

結核の発生や流行を予防するため、BCGの予防接種を実施しています。

高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用助成事業

91万2千円

(財源：町91万2千円)

75歳以上の高齢者の肺炎の発症と重症化を予防するため、ワクチン接種を推奨し、その費用助成を行うことで、町民の健康増進と接種家族の経済的負担の軽減に努めています。

(10月から予防接種法に定められた定期接種となり、対象年齢が限定されます)

■ 養育医療給付事業

200万3千円

(財源：国100万円、県50万円、町50万3千円)

医療を必要とする未熟児に対して養育に必要な医療の給付を行うことにより、未熟児の健康の増進を図るため実施しています。

■ 1歳6カ月児・3歳児健康診査事業

188万6千円

(財源：県20万1千円、町168万5千円)

成長が著しい1歳6カ月から2歳未満と3歳6カ月から4歳未満児を対象に、身体やこころの発達をチェックすることで病気などの早期発見や健康な発達を促すため、健康診査を実施しています。

■ 妊婦・乳幼児健康診査事業

2,330万7千円

(財源：町2,330万7千円)

母子の健康のため、妊婦健診については14回を上限に、乳児健診は2回、それぞれ健診費用の公費負担を行っています。

また、集団で実施する乳児健診・股関節脱臼検診、乳幼児歯科継続健診も行っています。

■ 育児支援事業

28万8千円

(財源：町28万8千円)

乳幼児の成長・発達を促すため、保健師・管理栄養士等による育児相談や離乳食実習を実施しています。また、発達が気になる乳幼児と保護者に、臨床心理士または臨床発達心理士による発達相談も実施しています。

この他、地域で暮らす母子の支援のため、ボランティア（母子保健推進員）活動の支援も実施しています。

■ 乳児家庭全戸訪問・養育支援訪問事業

68万9千円

(財源：国22万9千円、県22万9千円、町23万1千円)

生後4カ月までの乳児家庭を保健師または助産師が訪問し、育児不安の解消や育児相談・育児支援のための情報を提供しています。

■ 特定不妊治療費助成事業

210万円

(財源：町210万円)

子どもを望むご夫婦が不妊治療を受けた際の経済的負担の軽減を図るため、また、少子化対策の一環として、費用助成を実施しています。

税務課

平成26年度の重点施策

町税は、石井町の皆様の共同財産でもあり、社会の中で生活していくうえでの参加費とも言えます。

滞納は誠実に納税などの義務を果たす多くの町民の公平感を阻害しかねません。また、健全な行政運営に支障をきたしかねないことから、平成20年度より、町税の滞納者に対して、町長はじめ管理職等による夜間一斉徴収（毎年9/1～9/30）を行い、6年間で約4,000万円の徴収ができています。

また、今年度は県税局と町の徴収吏員が連携し、困難案件等の滞納解消に向けた取り組みの強化を図ってまいります。



課長 田中 憲博

平成26年度の重点施策

- ・町の将来の発展を見据え、基幹道路の整備、安全で安心な生活道路の維持管理を図ります。
- ・国・県と協力し、河川・排水路の整備による浸水被害対策に努めます。
- ・都市公園の維持管理により、町民の皆様にご快適な憩いの場を提供できるように努めます。
- ・適正な工事の施工を確保し、公正で透明性の高い入札制度の維持に努めます。



課長 遠藤 美信

■用悪水路等改良事業

524万円

(財源：町524万円)

地域の用悪水がスムーズに流れるよう、水路に堆積した泥を取り除いたり、水路の補修、改良を行います。

■道路管理事業

772.7千円

(財源：町772万7千円)

石井町の管理する道路を安全で快適に利用できる状態に保つため、町道や里道について、補修や除草、側溝の泥の除去などの維持管理業務を行います。

■道路維持補修事業

1,900万円

(財源：町1,900万円)

安全で快適に利用できる状態を保つため、破損、劣化した町道の舗装補修工事など、町道の維持修繕業務を行います。

■交通安全施設整備事業

390万円

(財源：町390万円)

町道が安全に利用できるように、カーブミラーやガードレールの新設や補修を行っています。

■町道高原33号線改良事業（基幹事業）

1,000万1千円

(財源：国550万円、町450万1千円)

百姓一から北に伸びる町道南島11号線の延長

として、石井町高原と藍畑を南北に結ぶ道路を新設します。

■町道新設改良事業

4,672.5千円

(財源：町4,672万5千円)

幅が狭い町道の拡幅や側溝の新設などの整備を行い、通行しやすく環境のよい生活道路に改良します。

■町道石井123号線改良事業（基幹事業）

1,000万2千円

(財源：国550万円、町450万2千円)

石井駅山路線と農業大学校跡地を東西に結ぶ道路を新設します。災害時にも強い、いしい環状線として利用できます。

■長寿命化対策事業（防災・安全）

2,990万2千円

(財源：国1,644万5千円、町1,345万7千円)

石井町が管理する橋長15m以上の橋梁について、橋梁長寿命化修繕計画に基づき順次修繕工事を行い、橋梁の安全性、信頼性を確保します。

■住宅リフォーム助成事業補助金

300万円

(財源：町300万円)

石井町内の施行業者（資材を含む）を利用して住宅の改修工事を行う方に対し、助成を行っています。

いきいき農業振興課

平成26年度の重点施策

農業の振興を図るため、担い手の育成支援を図るとともに農業環境の保全と整備に努め、第2次産業・第3次産業と連携しながら、農業生産・販売体制を確立していきます。

地籍調査は、土地に関する最も基礎的なものであり、公共事業の円滑化、災害等の復旧・復興に不可欠であります。その進捗率は54%であるため、引き続き積極的に推進していきます。



課長 田中 達也

■青年就農給付金事業

2,850万円

(財源：県2,850万円)

経営の不安定な就農初期段階の青年就農者(原則45才未満)に対し青年就農給付金(年間150万円。最長5年間。)を給付することにより、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図ります。



■地籍調査事業

2,883万1千円

(財源：国1,404万5千円、県702万2千円、町776万4千円)

地籍調査とは、国土調査法等に基づき、土地の明確化を目的とした調査です。三連動地震に対する予防的対策として推進しています。平成26年度は、藍畑西覚円の一部と東覚円を調査します。

■石井町藤の里いきがい農園事業

10万6千円

(財源：町5万2千円、その他5万4千円)

住民に農作業の場を提供し、自然の良さと物作りを楽しみ、収穫の喜びを体験することにより農耕に対する意識を高めてもらうため、石井町藤の里いきがい農園の維持管理を行っています。



農園は全18区画(1区画48㎡)、年間使用料は3,000円です。

■転作推進事業

679万7千円

(財源：県400万円、町279万7千円)

石井町いきいき農業振興課、名西郡農業協同組合等の構成員から成る石井町農業再生協議会に補助金を交付し、協議会で経営所得安定対策(転作)の推進にかかる事務や生産調整実施者の転作現地確認等を行っています。

また、制度の周知パンフレットや加入申込書等の配布を行っています。

農業委員会

平成26年度の重点施策

農地の売買や貸借などの権利移動や農地転用に伴う農地法等の許可業務を中心とした農地行政を担っております。地域の農地利用の合意形成を推進するとともに、農地パトロールなどによる実態把握を行い、遊休農地の解消などに取り組んでいきます。

事務局長 田中 達也

福祉生活課

平成26年度の重点施策

障がい者の生活支援体制の充実を図るとともに、ニーズに応じた障がい福祉サービスの提供体制の整備を行い、自立と社会参加をサポートし、地域で支え合うことのできるまちづくりを目指します。

また、犯罪防止を目的とした防犯灯の設置や、町民の皆様のご協力によるゴミの清掃ボランティア活動を通じて、犯罪のない、安全で明るくきれいな生活環境の保全に努めます。



課長 阿部 龍裕

■障がい福祉サービス費

4,806万3千円

(財源：国2億4,000万円、県1億2,000万円、町1億2,063万3千円)

障がい者や障がい児の自立した日常生活や社会生活を可能とするため、県が指定する事業所において、生活上または療養上で必要な障がい福祉サービスの提供を受けた時、その要した費用の原則9割を支給しています。

■補装具費

500万円

(財源：国250万円、県125万円、町125万円)

失われた身体機能を代償または補完するため、身体障がい者や身体障がい児の方に、車いす、補聴器、義肢、補装具等の購入及び修理に要する費用の支給を行っています。対象者の負担は原則1割です。

■障がい児通所給付費

3,339万6千円

(財源：国1,665万円、県832万5千円、町842万1千円)

在宅の障がい児の地域生活を可能とするため、県が指定する事業所において、必要な障がい児通所支援（児童発達支援・医療型児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援）の提供を受けた時、その要した費用の原則9割を支給しています。

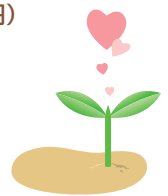
■相談支援事業

1,026万1千円

(財源：町701万9千円、その他324万2千円)

地域における障がい者やその家族の生活を支援し、在宅の障がい者の自立及び社会参加の促進を図るため、地域の障がい者等の福祉に関するいろいろな問題について、障がい者や、その保護者または介護を行う方からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言等を行っています。

この業務は神山町と共同で指定相談支援事業者に委託しており、委託事業者等を構成員とする名西郡自立支援協議会を開催しています。



■移動支援事業

260万円

(財源：国130万円、県65万円、町65万円)

地域における自立生活及び社会参加を促すため、屋外での移動が困難な障がい者の方に対し、個別支援型（個別的支援が必要な者に対するマンツーマンによる支援）及び車両移送型（各行事の参加のための運行等、必要に応じた支援）による外出の際の移動を支援しています。

■日中一時支援事業

84万円

(財源：国42万円、県21万円、町21万円)

日中に監護する人がいないため、一時的に見守り等の支援が必要と町が認めた障がい者の方に、日中、障がい福祉サービス事業所、障がい者支援施設、学校の空き教室等において、活動の場を提供し、見守り、社会に適應するための日常的な訓練その他町が認めた支援等を行っています。

■合併処理浄化槽設置整備事業補助金

3,474万円

(財源：国1,101万3千円、県1,050万1千円、町1,322万6千円)

河川や海などの水質汚染が社会問題となっておりますが、その原因は私たちの生活によってもたらされる生活排水が主と言われています。

水質保全や衛生的な環境形成のため、石井町では合併処理浄化槽の設置を推進しており、合併処理浄化槽に転換する場合に補助金を交付しています。

今年度から単独処理浄化槽・汲み取り槽の撤去費補助を追加し、条件を満たした場合に上乗せ助成しています。

■防犯灯管理・整備費

1,118万4千円

(財源：町1,118万4千円)

地域における犯罪の未然防止と安全で明るいまちづくりを進めるため、町民の皆様からのご要望に応じて、危険箇所を優先に防犯灯を設置しています。

また、消費電力を減らし、エコ推進・費用節減の点から、老朽化した器具を順次LED化していきます。



■犬の登録事務事業

141.7万円

(財源：県9万7千円、町52万5千円、その他79万5千円)

犬を飼う場合、犬を取得した日から30日以内(生後90日以内の犬を取得した場合にあっては、生後90日を経過した日)に狂犬病予防法の定めるところにより、生涯一回の登録と毎年一回の狂犬病予防注射が義務づけられています。石井町では毎年春と秋の二回に分けて予防注射を実施しており、その他、様々な犬や猫に関する相談を受け付けています。

■ゴミゼロ環境美化活動事業

10万8千円

(財源：町10万8千円)

ゴミの減量化、不法投棄の禁止、再資源化などの意識を高めるとともに美しい町を目指して、毎年5月最終の日曜日に、ゴミゼロ運動として、住民の方や自治会の方々に協力してもらい、地域の清掃活動を行っています。



出納課

平成26年度の重点施策

出納課では、皆さんから納めていただいた各種税金、保険料をはじめ、国・県補助金、使用料・手数料などの収入現金を管理し、各課からの支出に関する書類を審査・確認のうえ支払業務を行っています。

この収支状況については、毎月監査委員の検査を受けており、5月末の出納閉鎖後、決算書類を作成しています。

今後においても、法令や予算に照らして、適正且つ迅速な会計処理に努めます。



課長 天羽喜美代

住民課

平成26年度の重点施策

住民課では、戸籍や住民票・印鑑証明、国民健康保険や年金、選挙事務など幅広い町民のみなさんの生活に密着したところです。

来年には新しい庁舎もでき、役場の顔としてみなさんを新しい窓口でお迎えすることとなります。法律等で許される範囲の中で更なるサービスや利便性の向上に努め、来庁されるみなさんが利用してよかったと思っただけの窓口を目指したいと思っております。



課長 松本 雅文

■特定健康診査等事業費

1,741万**2**千円

(財源：国348万8千円、県348万8千円、町1,043万6千円)

石井町国民健康保険加入者のうち40歳以上の方に受診券を送付し、特定健康診査を受診していただき保健指導を行うことにより、疾病等の予防に役立てるとともに、医療費等の負担を軽減しています。

今年度も従来の個別検診に加え集団検診を実施する予定です。

■国保被保険者指導等事業

102万**3**千円

(財源：県51万円、町51万3千円)

国保に関することをわかりやすく説明している「国保のしおり」の配布や、いきいき健康フェスティバル in いしいの国保コーナーで、足の裏健康度測定・頭の老化度チェック等を無料で実施しています。

ご利用ください

●窓口業務の時間延長（要予約）

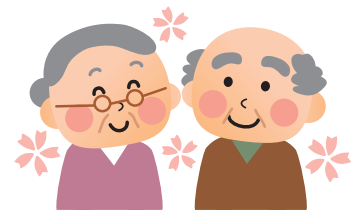
- 実施日・延長時間
毎週木曜日（祝日・年末年始を除く）
午後5時15分から午後7時30分まで
- 予約方法
当日の午後5時までに住民課へご連絡ください。



ご利用ください

●住民基本台帳カードを一部、無料で交付

石井町在住の65歳以上の方で、運転免許証を自主返納された方に限り、顔写真付住民基本台帳カードの交付が無料となります。



財政課

平成26年度の重点施策

財政課には、財政係と統計係があり、町の歳入歳出予算の編成、地方交付税や起債、国勢調査をはじめとした各種の統計調査に関することなどを取り扱っています。

平成26年度は、庁舎建設事業を筆頭に、大規模事業による多額の支出が予想されますが、引き続き財政の健全化に努めてまいります。



課長 伊延 徹哉

教育委員会

教育委員会制度の仕組み

- 教育委員会は、独立した行政委員会として全ての都道府県及び市町村等に配置されています。教育行政における重要事項や基本方針を決定し、それに基づいて教育長が具体の事務を執行しています。
- 教育委員は、非常勤で、原則5人です。任期は4年で、再任可能です。
- 教育長は、常勤で、教育委員のうちから教育委員会が任命します。

教育委員会制度の意義

政治的中立性の確保

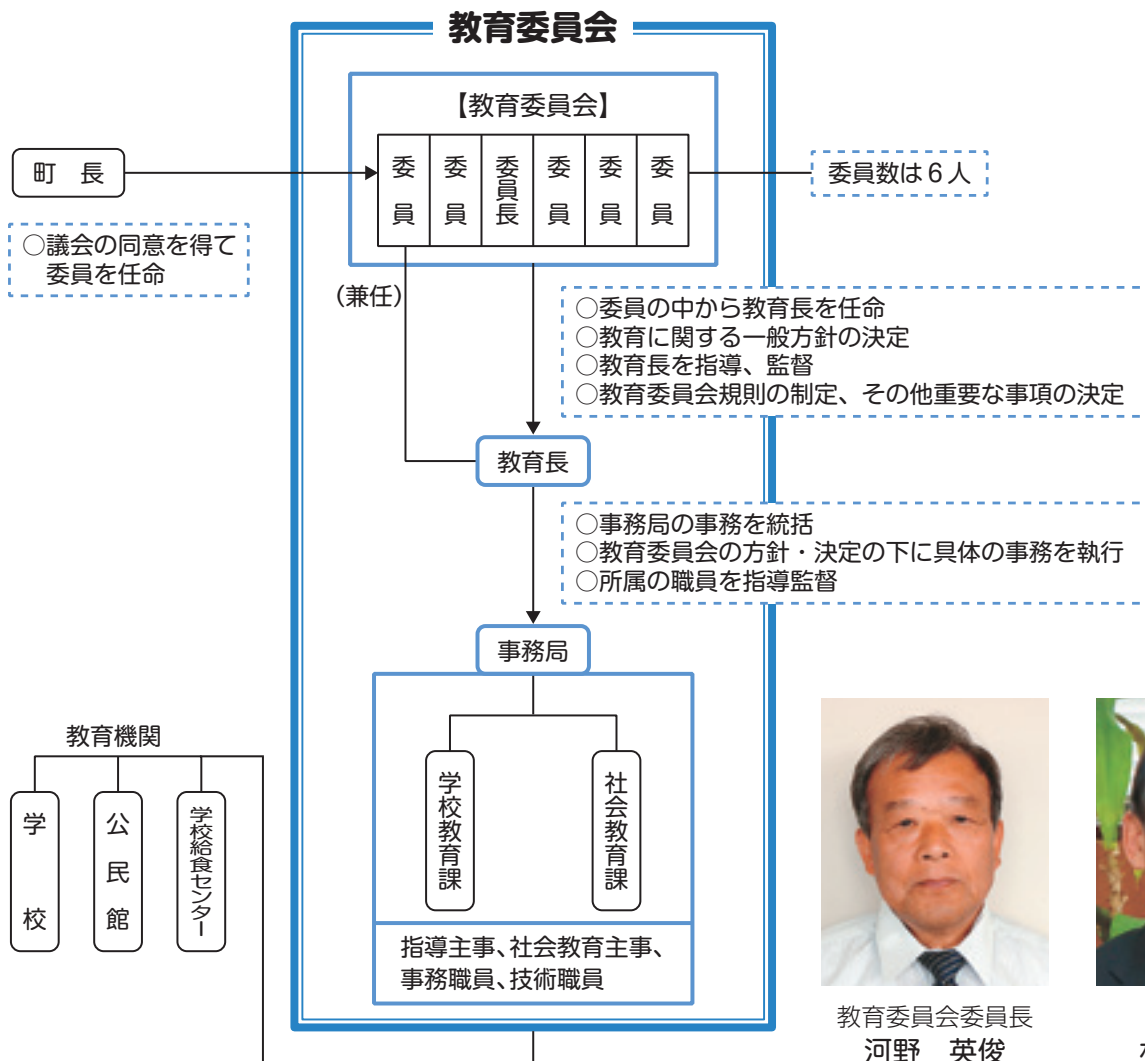
教育は、その内容が中立公平であることが極めて重要です。個人的な価値判断や特定の党派的影響力から中立性を確保することが必要です。

継続性・安定性の確保

特に義務教育について、学習期間を通じて一貫した方針の下、安定的に行われることが必要です。

地域住民の意向の反映

教育は、地域住民にとって関心の高い行政分野であり、専門家のみが担うのではなく、広く地域住民の参加を踏まえて行われることが必要です。



学校教育課

平成26年度の重点施策

- ・土曜日授業の実施
子どもたちの土曜日をより有意義なものとし、確かな学力と豊かな心、健やかな体など「生きる力」の育成を目的に、小・中学校で毎月1回・第一土曜日に授業を行います。
- ・英語教育関係
幼稚園・小学校・中学校に外国人英語指導助手を派遣等、英語に興味関心を育てる町独自の事業を実施します。
- ・幼稚園教育環境改善
幼稚園4園の空調設備を設置し、教育機能の充実・教育環境の改善を図ります。



教育次長 以西 誠司

■わかば学級運営事業

138万8千円

(財源：町138万8千円)

不登校の未然防止、早期発見・早期対応のため、広報啓発・状況及び意識調査・支援活動や助言・教育相談の4つの活動を実施するとともに、不登校児童生徒の学校復帰に関する支援を行っています。

■特別支援教育支援員配置事業

1,548万円

(財源：町1,548万円)

特別支援学級には在籍していない、LD(学習症)やADHD(注意欠陥多動症)等の診断を受けている児童生徒への支援や個別指導を行っています。

■小学校学校給食費

223万円

(財源：町223万円)

浦庄・藍畑両小学校における給食単独校の管理運営及び保護者負担軽減措置として、補助金交付等を行っています。

■インターネット接続事業

小学校 **89万1千円**

(財源：町89万1千円)

中学校 **45万5千円**

(財源：町45万5千円)

次代を担う児童生徒が早い段階からインターネットに慣れ親しみ、これを活用する能力を身に

つけていくとともに、インターネットを学習のツールとして積極的に生かしていくなど、教育分野においてインターネットの活用促進を図っています。

■要保護・準要保護児童生徒就学援助費

小学校 **1,159万9千円**

(財源：国3万1千円、町1,156万8千円)

中学校 **1,180万9千円**

(財源：国6万円、町1,174万9千円)

経済的な理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、学用品費や給食費等の援助を行い、義務教育の円滑な実施を図ります。

■特別支援教育就学奨励費

小学校 **102万1千円**

(財源：国17万円、町85万1千円)

中学校 **54万3千円**

(財源：国9万円、町45万3千円)

特別支援学級等へ就学する児童生徒の保護者等の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、就学のため必要な経費について、その一部を補助し、特別支援教育の普及奨励を図ります。



■ 語学指導等を行う外国青年招致事業

626万8千円

(財源：町571万4千円、その他55万4千円)

小・中学校で英語を教えたり国際交流事業に携わる事により、地域の住民と様々な形で交流を深めています。これにより、外国語教育の充実と地域レベルの草の根の国際交流の進展を図り、相互理解を深めるとともに国際化の促進を行っています。

■ 幼稚園給食費

45万5千円

(財源：町45万5千円)

浦庄・藍畑両幼稚園における給食単独園の管理運営及び保護者負担軽減措置として、補助金交付等を行っています。



■ 幼稚園預かり保育事業

25万2千円

(財源：その他25万2千円)

降園後、家庭で面倒を十分みることができない園児を対象に、幼稚園の施設を利用して、保護者に代わって午後2時から午後7時まで園児をお預かりしています。



■ 幼稚園子育て支援事業補助金

45万円

(財源：町45万円)

幼稚園が地域の幼児教育のセンターとして、子育て支援機能の一層の充実を図るため、子育て支援の年間計画と組織づくり・園児、未就園児に関する全般の実態調査・各幼稚園の園開放による子育て支援の実施・広報活動やイベントの開催等を行っています。



■ 中学校英語検定補助金

46万8千円

(財源：町46万8千円)

中学生の英語に対する学習意欲・興味関心を育てるために、中学校英語検定受検者に対し、受験料を半額補助します。

■ 幼稚園空調設備整備事業

440万7千円

(財源：町440万7千円)

保育室内での熱中症の発生など、近年の異常気象を鑑み、空調設備を整備することにより、教育機能の充実・教育環境の改善を図ります。



■ いい英語大好き事業

720万円

(財源：町720万円)

巡回英語指導

「いい英語大好き事業」として、園児・児童が英語を聞いたり話したりして英語好きな子どもをはぐくむことを目的として、平成24年9月より巡回英語指導を始めました。現在英語指導員としてリチャード・ダフィーさん（アメリカ人・男性）、

エマ・パーソンズさん（イギリス人・女性）を雇用し幼稚園、小学校（1・2年生）の巡回英語指導を行っています。

● 目的

園児、児童が言語や文化に興味を持ち、英語を聞いたり話したりして積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、幼稚園、小学校の連携を通し、「英語好きな子どもをはぐくむ」ことを目的とする。幼稚園から小学校へ連続的、段階的に実施する。

二人の外国人講師



Hello, my name is Richard Duffy.

こんにちは、私の名前はリチャード・ダフィーです。

Please call me Richard.

どうぞ、リチャードと呼んでください。

I come from N.Y.

私はニューヨークから来ました。

I like Japanese music, movies, anime, and comics.

私は日本の音楽や映画、アニメ、漫画が好きです。

My other hobbies are running and bicycle riding.

私のほかの趣味は、ランニングとサイクリングです。



Hello, my name is Emma Parsons.

こんにちは、私の名前はエマ・パーソンズです。

I come from the UK.

私はUK（United Kingdom イギリス）から来ました。

I often go swimming at Ishii Dome,

私はよく石井ドームでスイミングをしたり、

ride my bike and make art work.

自転車に乗ったり、絵を描いたりしています。



小学校の英語指導



幼稚園の英語指導

石井町各幼稚園・小学校の英語指導



浦庄小学校
電子黒板を使って…



藍畑幼稚園
お天気をジェスチャーで…



石井小学校
How are you ? [I'm…]



浦庄幼稚園
場面を英語で…



藍畑小学校
聞き取りゲーム



石井幼稚園
音楽に合わせて体を動かす



高原小学校
場面を英語で…



高川原幼稚園
フルーツベジタブル



高川原小学校
「Wake up」ゲーム



高原幼稚園
ジェスチャーを英語で…

エマ・リチャードの担当校区

エマ = 石井小学校・石井幼稚園
浦庄小学校・浦庄幼稚園
リチャード = 高原小学校・高原幼稚園
藍畑小学校・藍畑幼稚園
高川原小学校・高川原幼稚園

社会教育課

平成26年度の重点施策

人権教育・啓発、生涯学習、スポーツ、文化などについて、それぞれ事業や講座を行っています。

今年度は、第56回全国社会教育研究大会徳島大会が10月23日・24日に徳島で行われます。また、町の人権啓発として、12月6日に「石井町総ぐるみ人権啓発研修大会」を開催します。文化関係では、石井町の文化財を知ってもらうために、「文化財ウォーキング」を計画しています。



課長 片岡 秀文

■ 藍畑分館整備事業

603万1千円

(財源：町603万1千円)

石井町公民館藍畑分館を建設します。老人憩いの家の機能を併せ持つ施設とし、現在の敷地から藍畑小学校西の忠勇跡地に移転する予定です。

本年度は、藍畑分館の設計をします。

■ 町内遺跡遺構確認事業

300万1千円

(財源：国150万円、町150万1千円)

気延山北西の尾根に造られた山ノ神古墳を発掘します。

古墳時代の前期から中期と推測されている全長約60mの前方後円墳である第1号墳を調査します。

■ 高川原福祉会館耐震改修・改造事業

353万2千円

(財源：国117万7千円、町235万5千円)

今後発生が予測される大地震に対応するために高川原福祉会館の耐震改修・改造をします。

本年度は工事にかかるための実施設計をします。

■ 石井町地域子ども育成事業補助金

39万1千円

(財源：町39万1千円)

家庭を基盤とした地域社会の教育力の向上を目指し、その主体として地域親子会の活性化を支援します。

地域親子会での各種体験活動の一部を助成しています。

■ 豊かな人間性を育む地域活動推進事業

48万1千円

(財源：町48万1千円)

家庭教育に関する学習を主に、豊かな人間性を育む地域を目指して、情報誌「子どもらんど」を年4回発行し、地域の子どもの自然体験や子育てサークルなどの情報を発信したり、家庭教育学級、ふるりの歴史を学ぶ会、親子クリスマス会などを推進しています。

■ スポーツ教室運営事業

11万9千円

(財源：町11万9千円)

いしいスポーツクラブによるマラソン挑戦講座をはじめ陸上教室、スポーツチャンバラ、卓球、太極拳、健康体操などの教室を行うことにより、住民の健康増進を図っています。なお、参加費が必要な教室もあります。

■ 文化財保護活動事業

20万2千円

(財源：町20万2千円)

町内文化財の説明板整備や文化財ウォーキングを実施し、住民に対して文化財保護意識についての啓発を行います。



■分館体育振興事業

70万5千円

(財源：町70万5千円)

各公民館分館単位で、体育祭（浦庄・高原）、歩け歩け大会（石井・藍畑・高川原）を行っており、各地区とも子どもから年配の方まで多くの人に参加しています。

■分館芸能振興事業

35万5千円

(財源：町35万5千円)

各公民館分館単位で地区町民が手芸・生け花・書道・絵画等の展示や、日本舞踊・カラオケ等の発表を行っており、地域での文化芸能の振興に努めています。

■壮年会補助金

21万円

(財源：町21万円)

各地域の夏祭り・道路清掃・餅つき等の行事を行い、地域社会づくりのための活動をしています。

また、各行事を通して会員同士の親睦も深めています。

■中央公民館講座等文化講演事業

32万円

(財源：町32万円)

石井町民全体が参加できる講座や講演を目指して、本の読み聞かせ教室をはじめ、水墨画教室、絵手紙教室、夏休み子ども教室における親子天文教室や親子陶芸体験など、町内在住の著名な方を積極的に講師として迎え、開催しています。



■中央公民館図書購入事業

130万6千円

(財源：町130万6千円)

月刊誌をはじめ人気のある本、また様々な分野の本を購入し、図書室の充実に努めています。

毎月購入した新刊については、ホームページ及び石井CATVで広報しています。

■中央公民館図書管理事業

547万8千円

(財源：町547万8千円)

館内閲覧時間を午後6時まで延長し、当室に無い図書は徳島県立図書館から巡回してくる協力車で送ってもらいます。

また、平成24年4月からは徳島市と北島町の図書館も利用できるようになりました。

■人権啓発活動事業

66万1千円

(財源：県65万9千円、町2千円)

同和問題を柱とした人権啓発の高揚を図るため、石井町総ぐるみ人権啓発研修大会を通じて、何人にも保障された「基本的人権」に関して理解と認識を深めるよう研修を行うとともに、街頭啓発も実施しています。



■石井町人権教育啓発センター事業

79万6千円

(財源：町79万6千円)

すべての人々の人権が尊重される明るい住み良いまちづくりを進めるため、人権問題学習講座「えがお」等各講座・講演を開催しています。

巡回体育指導事業

492万6千円

(財源：町492万6千円)

石井町教育振興計画の策定を契機に、町では巡回体育指導事業を始めました。

「保健・体育」の教員免許を持っている人材を雇用して、あらゆる年代の体力向上や健康増進を図るため、町内5幼稚園、5小学校の園児・児童を対象に、スポーツ指導員による巡回体育指導を行っています。

また、夏休み期間中は、町立4保育所も巡回しています。



スポーツ指導員
杉本真知子

●幼稚園



●小学校



●保育所



公民館の活動

中央公民館館長 檜 幸 正



公民館は、「ふれあい、学びあい、励まし合う」を合い言葉に町民の皆様が集い、心豊かに活動が推進されるよう努めることを基本方針としています。

●重点目標

1. 一人ひとりの人権を大切に、差別のない明るい地域社会づくりに努め、人権尊重の精神を培います。
2. 集えば華やぎ、心ふれあう新しい町づくりに取り組む町民の連帯性と自治意識の高揚を図ります。
3. 生涯学習社会の実現に向けて、町民のライフステージに応じた学習・文化活動の要望に応えるため、多様な学習の機会や場を提供します。

●努力点

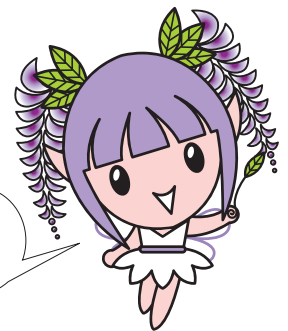
1. 学習の機会や場の提供と、学習内容の充実を図ります。
2. 人権教育、福祉、ボランティア教育などの推進を図ります。
3. 学習、文化情報の提供と学習相談に努めます。
4. サークル活動、地域ボランティア活動や文化活動の支援に努めます。
5. 生涯学習関係施設との連携を図ります。

●公民館利用上の心得

中央公民館及び分館は、「社会教育法」・「石井町立公民館の設置及び管理に関する条例」に基づいて運営しており、利用者の皆様には次の事項を守っていただけるよう、お願いしております。

1. 所定の手続きをして使用し、使用後は職員の指示を受けてください。
2. 許可を受けなくて、火器を使ったり、危険の恐れのある行為をしないでください。
3. 許可を受けなくて、飲食物その他の物品の販売、陳列または金品の寄付行為をしないでください。
4. 収容人数を超えて使用しないでください。
5. 使用者（主催者）は、責任を持って会場の設営等を行ってください。また、使用した備品等については、元の位置に戻してください。
6. その他、使用上の遵守事項（別に定める）を守ってください。

利用者の皆様にはマナーを守り、「来たときよりも美しく」を心がけて使用していただきますよう、ご協力をお願いします。



わくわく観光情報課

平成26年度の重点施策

石井町の繁栄と活性化を第一に、新しい観光ルートの開発と広報紙やホームページ等の活用により、町政の情報を分かりやすく発信いたします。また、石井町のイメージキャラクターふじっこちゃんをとおして、石井町の魅力をPRいたします。

地域活性化の観点から、商工会との連携により大型店との共存共栄を図るため、商店間の連携・イベントなどの開催など、個性豊かで利便性の高い消費者ニーズの変化に伴う販売形態を考えてまいります。



課長 鎌田 克己

■石井町ふじっこちゃん夏祭り助成事業

600万円

(財源：町600万円)



石井町の真夏の一大イベントであるふじっこちゃん夏祭り(石井町飯尾川公園夏祭り)を実施することにより、観光振興を図るとともにふれあいの場を提供し、住民の交流を深め、みんなが元気になる活力あるまちづくりを目指します。

■観光PRガイドブック等作成事業

64万8千円

(財源：町64万8千円)

石井町の限られた観光資源の有効活用と、観光施設の面的繋がりを促進し、1人でも多くの観光客が石井町を訪れてくださるよう、魅力発信に努め、また町内外の方にとって心地よいもてなしをすることができるガイドブックを作成します。



■ふじっこちゃんPR事業

217万2千円

(財源：町217万2千円)

石井町のPR大使であるイメージキャラクター“ふじっこちゃん”を活用し、石井町の認知度向上を図る目的として、ふじっこちゃんPRグッズ等を製作し、販売・配布を実施します。



■広報広聴事業

690万9千円

(財源：町690万9千円)

広報いしい及びわかりやすい予算書、新聞広告、ラジオ放送、ケーブルテレビ、ホームページなどを通して、町からのお知らせやイベント情報など、住民生活に関わる様々な情報を、住民にわかりやすく理解しやすい形で積極的に情報発信しています。



また、ミニタウン集会や町長へのハガキなどにより、住民と行政が一体となったまちづくりを進めるため、町民のみなさんから町政に対するご意見やご要望を受け付けています。

■地域づくり活動団体等育成・支援事業

10万円

(財源：町10万円)

行政と地域協働によるまちづくりを推進するため、ボランティア活動やNPO活動等に取り組んでいる団体への支援を行っていきます。



いい町で 幸せの三寺めぐり “幸せさがし”してみませんか

福が訪れるお寺 “地福寺”

地福寺本堂

地福寺の紫藤

地福寺の藤まつり

地福寺の白藤

石井駅

地福寺 石井駅より徒歩で3分

至徳島

石井小学校

至神山トンネル

徳が授かるお寺 “徳蔵寺”

徳蔵寺本堂

徳蔵寺の紫藤

徳蔵寺観音菩薩

徳蔵寺新四国さん

石井駅

徳蔵寺 石井駅より車で3分

至徳島

石井小学校

至神山トンネル

学が授かるお寺 “童学寺”

いろは文字が作られたと言われています

童学寺本堂

童学寺山門

いろは像

秋の童学寺

石井駅

童学寺 石井駅より車で5分

至徳島

石井小学校

至神山トンネル

いのちを守る防災・危機対策課

平成26年度の重点施策

今後予想される地震等の大規模災害に備え、町民の皆様の生命・財産を保護するとともに、災害に強いまちづくりの実現に向けた取り組みを進めたいと考えております。



課長 桃井 淳

■木造住宅耐震診断支援事業

240万円

(財源：国120万円、県60万円、町60万円)

平成12年5月以前に着工された木造住宅をお持ちで、耐震診断を希望する方を対象に、耐震診断士の派遣を行います。診断の自己負担金は無料です。

■木造住宅耐震改修支援事業

1,662万円

(財源：国36万円、県738万円、町888万円)

地震に強いまちづくりを推進するため、木造住宅の耐震改修工事を行う方に対し、耐震改修費用の一部を補助する事業です。

診断結果が評点0.7未満（倒壊する可能性が高い）であった住宅が対象で、補助金額は対象となる工事費の3分の2以内で、上限60万円です。

また、県の事業「住まいの安全・安心なりフォーム支援事業（補助額上限40万円）」に上限10万円（町費）の上乗せ補助を行っています。

■地域防災組織育成事業

232万1千円

(財源：町32万1千円、その他200万円)

宝くじを財源として一般財団法人自治総合センターが実施する、コミュニティ助成事業（地域防災組織育成助成事業）助成金を活用し、簡易トイレやLEDランタンなど、災害時に各指定避難所において自主防災組織等が活用できる避難所運営資機材を配備します。

■災害時用物資購入事業

207万1千円

(財源：町207万1千円)

各指定避難所に備蓄する保存用水・食料品等を購入します。（粉ミルク・アルファ化米、アレルギー対応食を購入）

■石井町地域防災計画策定事業〈繰越予算〉

293万円

(財源：国140万円、町153万円)

東日本大震災の教訓及び国・県の防災計画改定並びに災害関係法令の改正等を踏まえ、現行の「石井町地域防災計画」の見直しを行います。

このことにより、災害時に実効性のある対応体制の確立や、減災対策の強化、身近な地域の危険箇所情報の把握、避難行動要支援者の避難支援強化、地域の自主防災組織の整備・強化などを図ります。

■消防団詰所整備事業〈繰越予算〉

1億**355**万1千円

(財源：国4,818万円、県1,250万円、町4,287万1千円)

国の交付金等を活用して老朽化した消防団詰所の建替えを行い、団詰所と一時避難所としての機能を併せ持つ防災活動拠点施設として整備します。

上記予算により、石井町消防団藍畑分団第6部（西覚円）、浦庄分団第2部（上浦）、浦庄分団第3部（諏訪）の詰所整備を行います。



消防団詰所兼一時避難所

●災害時用物資備蓄状況

(平成26年4月1日現在)

通 番	避難所名	避難所種類	備 蓄 品 目									
			1 食 5 年 保 存	保 存 水 5 年 保 存	ビス ケッ ト 5 年 保 存	カ ロ リ ー メ イ ト 3 年 保 存	粉 ミ 8 5 0 g	お む つ (子 供 用)	お む つ (大 人 用)	生 理 用 ナ フ キ ン	毛 布	簡 易 ト イ レ ・ テ ン ト
			(食)	(本)	(食)	(食)	(缶)	(枚)	(枚)	(枚)	(枚)	(個)
1	前山公園・体育館	指定・広域避難所	650	912	480	240		58	16	420	300	1
2	石井中学校	指定・広域避難所	650	912	480	240		58	16	420	300	1
3	高浦中学校	指定・広域避難所	650	912	480	240		58	16	420	300	1
4	石井小学校	指定避難所	650	912	480	240		58	16	420	300	1
5	浦庄小学校	指定避難所	650	912	480	240		58	16	420	300	1
6	高原小学校	指定避難所	650	912	480	240		58	16	420	300	1
7	藍畑小学校	指定避難所	650	912	480	240		58	16	420	300	1
8	高川原小学校	指定避難所	650	912	480	240		58	16	420	300	1
9	中央公民館	指定避難所	400	640	320	120		58	16	280	100	1
10	公民館石井分館	指定避難所	150	368	160	120		58	16	280	50	1
11	公民館浦庄分館	指定避難所	150	368	160	120		58	16	280	50	1
12	公民館高原分館	指定避難所	150	368	160	120		58	16	280	50	1
13	老人憩の家	指定避難所	150	368	160	120		58	16	280	50	1
14	公民館高川原分館	指定避難所	150	368	160	120		58	16	280	60	1
15	尼寺教育センター	指定避難所	150	368	160	120		58	16	280	50	1
16	保健センター	指定避難所	250	368	160	120		58	16	280		1
17	名西高校	指定避難所	650	912	480	240		58	16	420	300	1
18	農林水産総合技術支援センター	指定避難所	900	312	320	240		58	16	420	300	1
19	飯尾川公園(ドーム保管)	広域避難所	650	912	480	240		58	16	420	300	1
20	三郎広場(防災センター保管)	広域避難所	1,250	2,312		240		58	16	420	90	
21	地域防災交流センター	指定避難所	650	1,412		240		58	16	420	290	1
22	石井町役場	災害対策本部		288		120	20	720		140	200	1
計			10,850	16,660	6,560	4,200	20	1,938	336	7,840	4,290	21

給食センター

平成26年度の重点施策

給食については、米飯給食を「週4回」実施しており、お米は町内産コシヒカリを金芽米に加工し、毎月1回はお米を製粉した米粉を使った米粉パンを配食しています。野菜については、季節に応じた町内産野菜をできるだけ使用し、地産地消に取り組んでいます。

平成26年4月より使用している金芽米は、白米に比べビタミン・ミネラルと健康糖質が多くカロリー1割オフで、自然免疫力を高める成分が6倍含まれるおいしさをアップしたお米です。



所長 池北 哲也

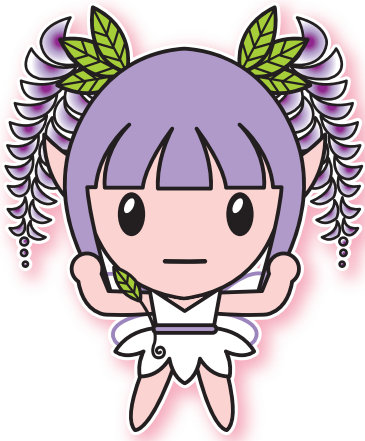
食育推進事業

16万円

(財源：町16万円)

生きる力をはぐくむ食育の推進と学校給食の充実を目指して、食育推進委員会や食育リーダー部会の開催など、学校食育推進体制の整備及び学校・家庭・地域の連携による食育の推進を図るとともに、親子料理教室や食生活アンケート等を実施して、朝食を食べることの重要性だけでなく、その食事の中身も重要であることを児童・生徒や保護者に啓発しています。





避難所マップ

地域や家族の皆さんで、
避難場所までの道を
2つ以上考えておきましょう。



指定避難所とは？

災害により、住居が被害を受けた住民の皆さんの受け入れ、宿泊、給食などの救援を実施する臨時の施設

広域避難所とは？

町が指定した大人数収容できる避難場所（グラウンド等）。指定避難所のように避難生活をする場所ではありません。

一時避難所とは？

災害時の危険を回避するために一時的に避難する場所。地域住民等の集合・待機場所。

指定避難所及び 広域避難所の備蓄品

- ・ 保存水
- ・ アルファ化米
- ・ ビスケット
- ・ 毛布
- ・ その他

～「防災」に関する基本理念～

災害は予想以上の規模で発生することがあります。行政の力だけでは大災害に立ち向かうことはできません。「自助」「共助」「公助」が一体となって災害に強いまちづくりを目指しましょう。

自助

自分で自分や家族を守る

- 食料、水の備蓄
- テレビ、ラジオ等による情報収集
- 家の耐震診断・耐震改修、家具の固定
- 家族との話し合い

共助

地域や事業者が助け合って守る

- 助け合って救出、初期消火
- 避難所運営等
- 地域の防災活動への参加
- 地域での訓練の定期的な実施
- 事業者と地域の連携

公助

行政が地域や事業者の活動を支援し、安全を確保する

- 石井町を災害に強いまちにするための総合的な対策の実施
- 「自助」「共助」の推進



一時避難所一覧表

- | | | |
|---|----------------|------------|
| ① | 関 | 農業構造改善センター |
| ② | 下浦東 | 農業構造改善センター |
| ③ | 高畑東 | 農業構造改善センター |
| ④ | 重松 | 農業構造改善センター |
| ⑤ | 大万 | 農業構造改善センター |
| ⑥ | 南島 | 農業構造改善センター |
| ⑦ | 加茂野 | 農業構造改善センター |
| ⑧ | 石井町竜王集会所 | |
| ⑨ | 石井町上南集会所 | |
| ⑩ | 石井町高畑西集会所 | |
| ⑪ | 石井町消防団石井分団第2部 | |
| ⑫ | 石井町消防団石井分団第6部 | |
| ⑬ | 石井町消防団石井分団第7部 | |
| ⑭ | 石井町消防団浦庄分団第1部 | |
| ⑮ | 石井町消防団藍畑分団第7部 | |
| ⑯ | 石井町消防団高川原分団第3部 | |

すくすく子育て課

平成26年度の重点施策

- ・「地域ぐるみで、子どもを健やかに育てるまちづくり」の実現に向けて、教育・保育ニーズを把握し、次代を担う子どもたちの育成と子育て支援サービスの充実に努めます。
- ・安心して子どもたちを預けられる保育施設として、町内3カ所に認定こども園を整備する計画です。子育て家庭が住みやすい町になるよう、保育・教育の環境づくりを推進します。
- ・児童手当・子どもはぐくみ医療費助成・児童扶養手当などの各種届出や保育所入所申込みなど、さまざまな子育て支援事業の案内を行っています。



課長 多田 寛

■ひとり親家庭等医療費助成事業

125万円

(財源：県62万4千円、町62万6千円)

ひとり親家庭の方が入院した場合に安心して医療が受けられるよう、保険医療の自己負担分の助成を行っています。助成を受けられる方は、児童扶養手当を受給できる所得水準で、ひとり親家庭の父母及びその扶養する児童並びに父母のいない児童です。

■子育て短期支援事業

15万2千円

(財源：県4万9千円、町10万3千円)

家庭での養育が一時的に困難となった児童、又は緊急一時的に保護を必要とする母子、保護者の仕事等の理由により、平日の夜間又は休日に不在となる家庭の児童等を、児童福祉施設等において一定期間、養育・保護することにより、児童及びその家庭の福祉の向上を図っています。

短期入所生活援助（ショートステイ）事業と夜間養護等（トワイライト）事業があります。

■放課後児童対策事業

3,084万8千円

(財源：県1,960万4千円、町1,124万4千円)

昼間、保護者のいない町内各地区の小学校児童に対して、学童保育をすることによって、放課後等に適切な遊びや生活の場、安心して過ごせる場を提供しています。

■地域子育て支援ネットワーク推進事業

42万4千円

(財源：町42万4千円)

石井町内の子育て支援機関・団体や地域ボランティア等の協力により、子育て支援ネットワーク「石井町はぐくみ子育て応援団」を結成しています。支援団体の協力により「みらいフェスタinいしい」などのイベントを開催し、地域のみんで支え合う子育て力の向上を図り、子どもたちが心身ともに健やかに育成される場を提供しています。



■病児・病後児保育事業

1,269万5千円

(財源：県832万3千円、町341万6千円、その他95万6千円)

保護者の子育てと就労等の両立を支援するため、徳島市、小松島市、勝浦町、佐那河内村、神山町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町と病児・病後児保育の広域利用に関する協定を結んでいます。病氣中や病気の回復中の児童で、保護者の勤務の都合など社会的にやむを得ない事由により家庭で保育を行うことが困難な児童を対象に、保育を行います。

■徳島ファミリーサポートセンター事業

79万4千円

(財源：町79万4千円)

子育て中の家族が安心して子育てと仕事の両立ができるよう、地域の中で、子育ての応援をしてほしい人と、子育ての応援をしたい人が会員とな

り、育児についてお互いに助け合う、相互援助活動を行っています。

■放課後子ども教室推進事業

312万8千円

(財源：県208万4千円、町104万4千円)

児童の健全な育成を図り、より豊かな人間関係の育成につなげるため、地域の方々の参画を得ながら、様々な体験や遊びを通して協調性や社会性を養う場として、学習のなかで放課後の子どもたちの安心・安全な居場所を確保しています。



■ブックスタート事業

13万5千円

(財源：町13万5千円)

赤ちゃんが健やかに育つことを願い、ボランティアの皆様の協力を得て、生後4・5カ月児と保護者に「赤ちゃんとの絵本を楽しむ時間の大切さ」を伝えながら読み聞かせをして絵本をプレゼントしています。

■子どもはぐくみ医療費助成事業

1億893万1千円

(財源：県4,362万7千円、町6,530万4千円)

0歳から中学校修了までの乳幼児等の保護者に対し、医療費の一部を助成することにより、子育て支援の充実を図ります。

0歳から3歳未満児の通院及び0歳から6歳未満児の入院は自己負担金なし、3歳から中学校3年生修了までの通院及び6歳から中学校3年生修了までの入院は、1レセプト600円(保険薬局を除く)です。

保育所

■保育所嘱託医報酬

37万2千円

(財源：町37万2千円)

保育所では、入所児童の健やかな発育成長を図るため、嘱託医による内科検診と歯科検診を各2回実施しています。

通常保育(8時30分～16時30分)に加え、朝夕に延長保育を実施しています。

町立保育所 7時30分～19時まで開所

私立保育園 7時15分～18時45分まで開園

清掃センター

平成26年度の重点施策

ごみの30%削減に取り組んでいます

石井町では、もう一度、分別の原点にかえて、捨てるごみの中から「資源」を取り出す方向で、ごみの減量化に努めたいと考えておりますので、町民の皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。



所長 樋口 克己

■分別収集徹底住民啓発事業

197万1千円

(財源：町197万1千円)

家庭ごみの分別・排出方法や収集日、ごみの減量化・資源化を推進するための広報を掲載した「ゴミ収集カレンダー」を作成し、新聞折り込みや石井町ホームページ等を利用して、町内の一般家庭に周知しています。



石井町議会議員の紹介



近藤 忠夫 (議長) 山根由美子 川端 義明 山口 性治 藤田 高明 梶野 利男 (総務常任委員会委員長)

久米 伸一 白川 光夫 (文教厚生常任委員会委員長) 谷脇 孝子 (副議長) 後藤 忠雄 (産業建設常任委員会委員長)

山西 国朗 小林 智仁 永岡 栄治 仁木 孝

議会事務局

平成26年度の重点施策

町議会は町民から選挙された議員により、町民を代表して町全域の問題について議論し、予算を決めたり、条例の制定や改廃などの審議をします。地域住民の立場に立って町の政策を決定するところであり、町民の福祉の向上と、地域の発展に貢献することを目的としています。



事務局長 中村 淳

(1) 議員の定数と任期

議員は、4年ごとに行われる選挙により選ばれます。議員の定数は町の条例で定めることとされており、石井町では14人としています。

現在の議員の任期は、平成23年9月1日から平成27年8月31日までです。

(2) 町議会の会議

町議会本会議は、町長が招集します。

本会議には、年4回(3月、6月、9月、12月)の定例会と、必要に応じて随時開かれる臨時会があります。そのほかに、全員協議会や、より細かく専門的な審議をする常任委員会、特別委員会などがあります。

(3) 委員会

- 常任委員会は、地方自治法・条例に基づいて議会に常に置かれている委員会で、石井町議会には、次の3つの委員会があります。議員は必ず、このうちの1つの委員会の委員になることが義務づけられており、常任委員の任期は2年です。

常任委員会の名称	定数	所 管 事 務
総務常任委員会	5	総務課、住民課、税務課、財政課、出納課及びいのちを守る防災・危機対策課に関する事務
産業建設常任委員会	5	いきいき農業振興課、わくわく観光情報課、農業委員会及び建設課に関する事務
文教厚生常任委員会	5	福祉生活課、長寿社会課、すくすく子育て課、水道課、教育委員会及び保育支援室に関する事務

- 特別委員会は、特定の事件について審査・調査するために必要があるときに設けられます。石井町議会には、河川・防災対策特別委員会と環境衛生対策特別委員会が設置されています。
- 議会運営委員会は、円滑な議会運営のために、会期や議案・請願等の取扱いなどに関する議会運営全般についての協議や意見調整が行われます。議会運営委員の任期は2年です。

水道課

平成26年度の重点施策

石井町の水道事業は、昭和48年4月に給水を開始してから40年が経過しており、配水管（道路に埋設された水道管）などの施設の老朽化が進んでおり、配水管の布設替えも検討しなければならない時期が来ております。

また、石井配水池や送水管を整備した第三期拡張事業が完了してから17年が経過しており、各施設の補修が必要となっております。今年度は、石井配水池屋根の防水修繕、天神橋水管橋の補修を行います。



課長 岩佐伸一郎

■石井配水池屋根防水修繕工事業

1,706万4千円

(財源：町1,706万4千円)

石井配水池屋根の防水機能が、太陽光線や風雨などによる劣化が心配されますので本事業を実施します。

■天神橋水管橋補修工事業

850万円

(財源：町850万円)

天神橋の上流側に架設してある水管橋が、太陽光線や風雨などにより塗装などが劣化してきておりますので補修するものです。

■給配水管修繕・変更・撤去工事業

2,760万円

(財源：町2,760万円)

安全な水を安定して供給するため、管路の維持管理並びに漏水等の速やかな解消を図るため実施します。



水道課（外観）



町内で活躍する各種団体紹介

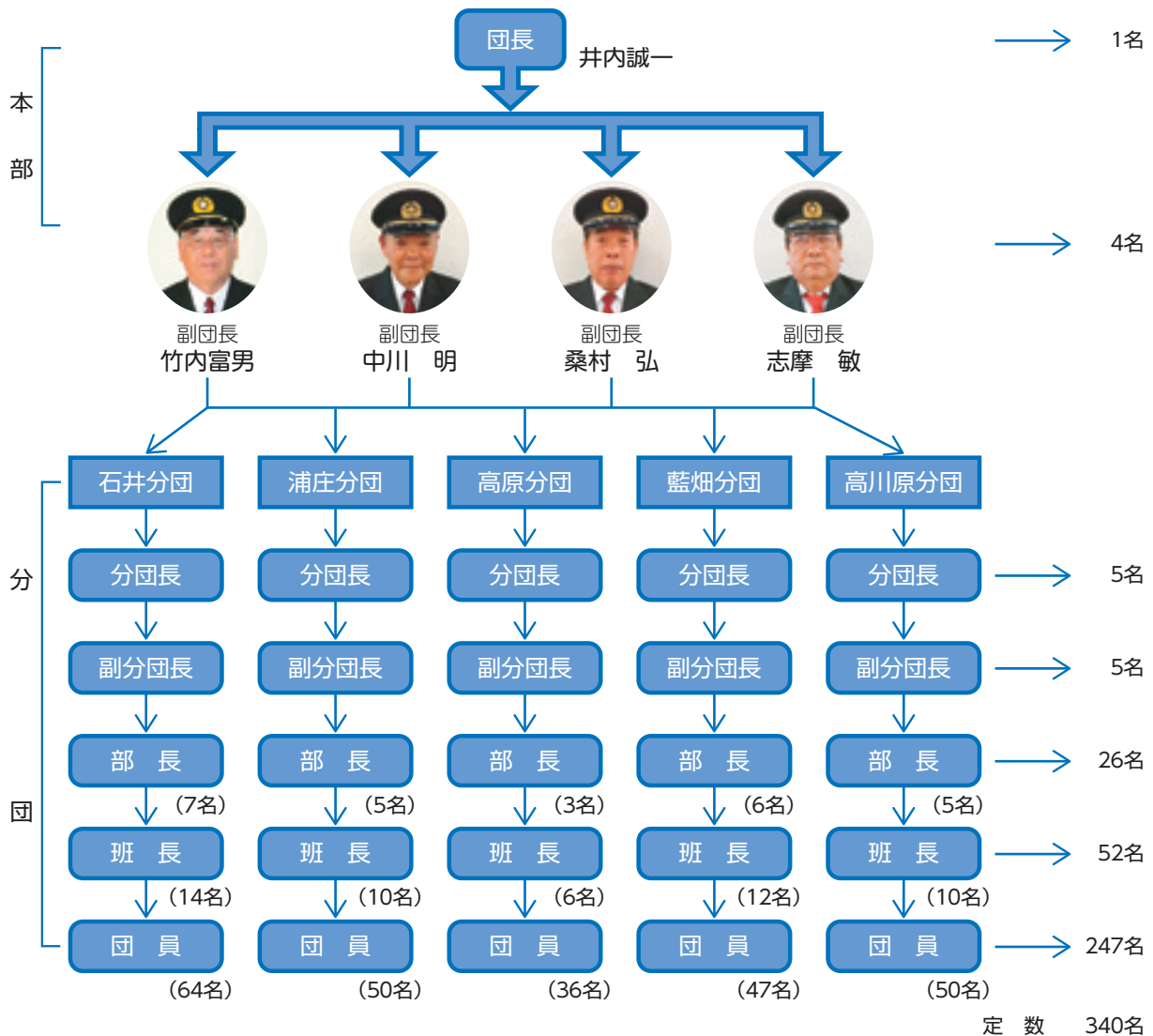
石井町消防団



団長 井内 誠一

消防団は、地域の有志の人々によって組織されており、義勇的、ボランティア的な性格が強い組織ですが、市町村の公的な消防機関であり、消防署と協力して火災、災害及び人命の救助に出動するとともに、火災予防の普及啓発活動等を行います。

平成26年度 石井町消防団組織図



平成26年石井町消防出初式



第29回徳島県消防操法競技大会

石井町防災士会

会長 岩本 光雄

石井町防災士会は、徳島県地域防災推進員養成研修を修了したのちに、防災士の資格を取得された有志の方々により組織され、防災に関する各種講習会を開催するなど、地域の防災リーダーとして活動されています。

平成26年度 石井町防災士会体制



会 長
岩本 光雄



副会長
山本 良治



副会長
高橋 貞夫



理 事
梶野 健一



理 事
福山 訓



理 事
辻 具宣



平成25年度 石井町防災訓練

会 員 13名

地域防災力の向上を図り、住民の安全確保のために次の事業を行います。

- 防災活動の普及、啓発に関すること
- 自主防災組織設立に係る支援
- 地震等自然災害に対する防災、減災対策に関すること
- 地域自主防災組織の強化に関すること
- 会員相互の研修に関すること
- その他、防災士会の目的を達成するために必要な事業



ロープワーク講習会



家具転倒防止講習会

石井町民生委員・児童委員協議会



会長 板東 聖治

石井町の民生委員・児童委員は55名で活動しています。55名の内3名の主任児童委員は、石井町内の各幼稚園・小学校及び中学校で訪問等行いながら学校と情報交換等行い活動しています。

担当地区を持つ52名の民生委員は、各地域で起こる様々な問題等について、解決に向け頑張っているところであります。

● 民生委員の任期

民生委員・児童委員の任期は3年で、民生委員推薦会で県知事に推薦し、最終厚生労働大臣より委嘱されます。

● 民生委員の活動内容

・ 高齢者の見守り記録の作成

各地区の独居老人や老人だけの世帯を調査し、相談に応じています。

・ 独居老人宅軽微な大作業の紹介等協力

徳島県建設労働組合のご厚意による独居老人宅の軽微な大作業を必要としている方のリストアップ等。

・ 生活困窮者に関する事

現在、核家族化が進み、一人暮らしで生活できない方が増加しています。様々な悩みについて、行政及び関係機関と連携をとり、その人その人にあう環境を模索しています。

石井町に住んで良かったと言われるよう、頑張ってお力添えをしたいと思います。

民生委員は各支部5地区と各人の担当区を決めています。都合の良い他の地区の民生委員に相談していただいても結構です。どうぞ相談ください。

石井町はぐくみ子育て応援団

代表 仁木 喜久美

平成26年度から石井町子育て応援団は、はぐくみ実行委員会と統合し、石井町はぐくみ子育て応援団になりました。

5月18日(日)には、統合してからはじめてのイベント“みらいフェスタ in いい2014”を開催し、約1000人の親子が参加しました。また、今回のイベントでは新しい試みとして“お仕事体験コーナー”も企画しました。参加者から「とても面白かった」「来年もまた来ます」「声をかけていただき楽しかったし、もっと協力したい」など、次回開催に期待する多くの声をお聞きすることができました。

これからも、子育て支援のまちづくりをめざして地域の方々とネットワークを広げ、子育て支援活動を展開していきたいと考えています。



みらいフェスタ in いい2014



商工会事業の中でも中心となる事業の紹介をいたします。

1. 「阿波とくしま・商品券及び地域商品券発行事業」

消費税8%増税に対し、徳島県・石井町・県内各商工会が「阿波とくしま・商品券」を発売、石井町商工会は9,100セット、1億円の販売を行い5日間で完売しました。多くの住民の方にご購入いただきました。

また、石井町商工会におきましては、独自にダブルチャンスの抽選券を進呈、抽選により5,000円の商品券100本贈呈という計画も実施し、大変喜んでいただきました。



2. 「桜祭り事業」

4月には、農業大学校跡地の桜並木街道を午後6時から午後9時までライトアップ、幻想的な雰囲気をかもしだし、多くの方々に夜桜鑑賞にお越しいただき好評でした。

3. 「藤祭り事業」

5月の藤祭り事業につきましては、盆栽審査会、藤娘写真撮影会等、多くのアマチュアカメラマンが熱心にシャッターを切り素晴らしい写真を撮っていただきました。

今年の藤祭りは、新たな取り組みとして、JRT四国放送のラジオ番組に2回生出演する等PR情報の提供に努め、昨年以上の多くの観光客が訪れました。石井町の風物詩として賑わいを魅せました。



4. 「フリーペーパー発行事業」

会員組織率向上対策として、フリーペーパー「え〜でよお〜石井あっちこっちマップ」秋冬・春夏号を作成、町内外に配布し好評を得ました。今夏、石井町で開催された全国中学校相撲選手権大会会場で配布し、町内の商工業のPR活動に努めました。



5. 「イルミネーション事業」

平成20年度からイルミネーション事業を、OKいしいパーク（飯尾川公園）で青年部を中心として実施しています。毎年数を増やし、昨年は阿南市からのイルミネーションとともに会場を盛り上げ、多くの方との交流を広げました。多くのマスコミにも取り上げられ、石井町の冬の風物詩として定着しました。

6. 「オンリーワン事業」

平成25年度から商工会の新たな取り組みとして、地域資源を活かした石井ファンづくり（徳島県補助）オンリーワン事業を進めています。具体的には、魅力ある個店の情報発信、石井駅の情報発信交流スペースの活用、地場産品を活用したご当地グルメの試作品の開発、特産品の詰め合わせボックスの開発等の研究を行いました。石井町が進めています「ふるさと会」会員に対して、特産品の詰め合わせボックスのご利用を考えています。また、商工会独自にふじっこちゃんグッズの考案もし、提案したいと考えています。

このような経済社会の動向に即応した取り組みを行うとともに、年間を通してイベントを主催し、他の行事に参加・協力し、町の活性化とともに地域に根ざした商工会として、様々な活動にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。



事務局長 矢上 堯

社会福祉協議会は社会福祉法に基づき、国、都道府県及び市区町村のそれぞれに設置されています。県・町からの補助金、社会福祉協議会会費等を財源とし、地域福祉の推進を主たる事業として、各種団体代表、学識経験者、福祉事業関係者等によって理事会、評議員会、監事会を組織して、その運営にあたっています。

行政、また他の福祉団体等との役割分担を明確にし、住民への各種福祉事業を主体的に実施しています。

■介護保険事業

- ・居宅介護支援事業…介護認定の相談と介護申請の代行、受けられるサービスの相談や介護計画(ケアプラン)の作成。
- ・訪問介護事業…訪問介護員(ホームヘルパー)による生活支援(買い物・掃除・調理等)及び身体介護(入浴・排泄・外出等)。

■給食・献血に関する事業

- ・給食サービス事業…女性ボランティア団体による一人暮らし高齢者等への給食サービスの実施。
- ・献血事業…移動採血車の巡回により、400ml献血へのご協力をお願いしています。

■募金事業

- ・日本赤十字社活動支援費…災害時の被災者救援を始め、日赤の行う「いのちと健康、尊厳を守る」各種人道活動支援のための募金活動。(支援費の募集期間 毎年5月1日～6月30日)
- ・共同募金…福祉活動への募金のお願い。(赤い羽根共同募金 募集期間 毎年10月1日～12月31日)
- ・歳末たすけあい募金…町内のスーパー、銀行等の事業所及び学校を通しての募金活動。(歳末たすけあい募金 募集期間 毎年12月1日～12月31日)

■生活相談・権利擁護事業

- ・心配ごと相談所事業…様々な問題についての相談を毎月第2・4火曜日午前中に実施。
- ・日常生活自立支援事業…認知症高齢者などの判断能力が充分でない方々に対して、地域で自立した生活が送れるよう福祉サービスの利用援助及び成年後見制度の利用相談。

■高齢者生きがい対策事業・老人クラブ活動事業

- ・シルバー人材センター事業…60歳以上の方が「自主・自立・共働・共助」の理念のもと、技術、知識、経験を生かして様々な仕事に従事。(年会費1000円)
- ・老人クラブ活動事業…老人クラブ活動の推進とその事務。

■ボランティアセンター事業

- ・ボランティアセンター事業…ボランティア団体の登録、活動のあっせん、各種講座の開催及び啓発と普及の推進。ボランティア活動保険の加入手続き、各種イベント用品の貸出。(毎年10月第3日曜日にボランティアフェスティバルを開催)

■各種貸出事業

- ・車椅子貸出事業…車椅子の無料貸出。期間は原則1カ月で更新可。
- ・ベビー、チャイルドシート貸出事業…それぞれ無料貸出。

■子育て支援事業

- ・はくぐみ子育て応援団事業…毎年5月に、みらいフェスタ in いしいの開催、また12月には親子クリスマス会を開催。
- ・移動図書館車活用事業…保育所、幼稚園等へ、移動図書館車(ふじっこ号)の巡回。

●平成26年度石井町社会福祉協議会

- ・予算総額 1億2,349万4千円(石井町からの補助金1,961万2千円)

「キャリアスキルを活かす第2の人生」

シルバー人材センターは、自らの能力を活かし自分なりの働き方で社会参加をしたいという、原則として60歳以上の方に対し、多様なニーズに応じた就業の機会を提供することにより、高齢者自身の生きがいや生活の充実を図るとともに、活力ある地域社会をつくりだすことを目的としています。

「経験を活かしてまだまだ働きたい」「仲間と楽しく地域に貢献したい」等という、60歳以上で石井町在住の方の入会をお待ちしています。会員申し込みは、事務所で随時受付を行っていますので、お問い合わせください。

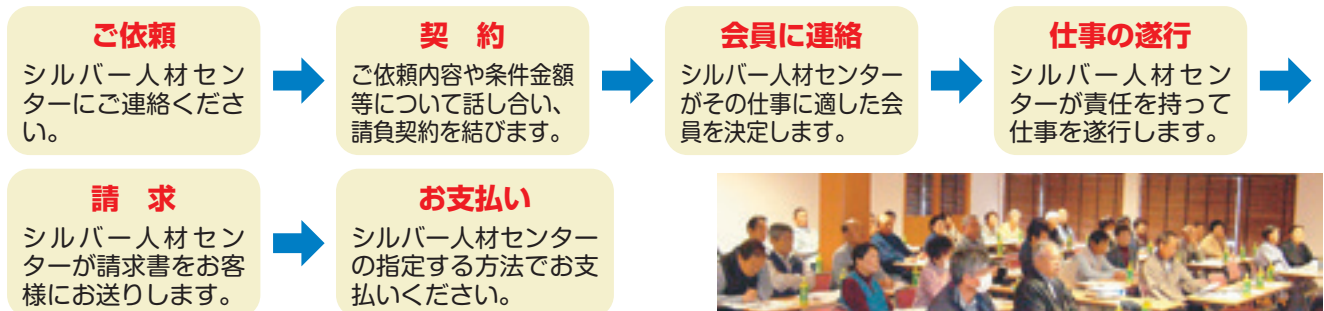
【年会費1,000円（期間4月1日～翌年3月31日）】

会員募集



シルバー人材センターのしくみ

- シルバー人材センターが企業、家庭、公共団体等から請負契約等の形式で引き受けた仕事を会員に提供し、会員は就業することによって、シルバー人材センターから配分金を受け取るという仕組みになっています。
- 臨時的・短期的に就業するシステムを基本としています。



仕事のご相談はお気軽にシルバーへ！

主な職種

- ・ 単純作業（草取り・刈払・室内外清掃・農作業・販売・荷造り・包装など）
- ・ 技能（剪定・塗装・障子・襖・網戸など）
- ・ 管理（建物管理・倉庫管理・守衛など）
- ・ 事務（毛筆筆耕・宛名書き・パソコン入力など）



◆平成26年4月より・新配分金価格表（消費税増税に伴い）

（×事務費7%）

職群	職種	配分金（時給）	職群	職種	配分金（時給）	
単純作業	草取り・清掃作業・農作業	756円	事務	毛筆1枚	54円～216円	
	刈り払い機	1,080円		賞状1枚	2,700円	
技能	剪定・塗装	1,080円		材料費	1,000円	
	消毒10ℓ	1,100円	機 械 損 耗 料			
	障子張替小・中・大	1,000円～1,900円	刈 払 機 1日	2,000円	バリカン1時間	200円
	襖張替（両面）	3,700円～5,000円	チェーンソー1時間	200円	発電機 1時間	400円
管理	網戸小・中・大	1,100円～2,100円	垢処理費・雑木 1 <small>キ</small>	14円	車損耗料 1台	1,000円
	建物・倉庫管理・守衛	756円	草 1 <small>キ</small>	17円	車損耗料 1台	1,000円

《お問い合わせ先》

〒779-3223 徳島県名西郡石井町高川原字高川原2112-3

TEL 088-674-7840 FAX 088-675-2655

ホームページ：<http://www.nmt.ne.jp/~ishiivo/>

E-mail：ishiicyosjc@tk3.nmt.ne.jp

石井町藤クラブ（石井町老人クラブ連合会）

会長 坂本 貞一



モットーは、『健康』『友愛』『奉仕』。

地域の高齢者が、同世代の仲間と共に、健康でいきいきと、生きがいを感じながら安心して生活を送ることができる石井町を目指して、様々な活動に楽しく取り組んでいます。

活動を通して、社会参加・介護予防になり、出会い・交流・顔の見える関係性が生まれ、閉じこもりや孤独（感）の防止、発見、予防につながっています。

……* 平成26年度の重点目標 *…*…*

- 魅力的で誰もが身近に感じるクラブ活動にする（愛称は「石井町藤クラブ」に決定！）
- 会員を増強する（特に、60歳代の方々等、比較的若い年齢層の会員増強に努める）

- 会員になるには
石井町在住で、おおむね60歳以上の方なら、どなたでも入会できます。

- 組織の概要（平成26年4月1日現在）
石井【6単位クラブ(303人)】／浦庄【8単位クラブ(370人)】
高原【7単位クラブ(303人)】／藍畑【8単位クラブ(409人)】
高川原【7単位クラブ(436人)】／合計【36単位クラブ(1,821人)】



健康ウォーキング大会

- 部の活動
女性部・芸能部・ゲートボール部・カラオケ部・グラウンドゴルフ部

●主な事業

友愛訪問活動…会員が友愛訪問員として、ひとり暮らし高齢者を定期的に訪問し、声かけ・見守り活動を行っています。（訪問員…65人、対象者…159人）

社会奉仕の日…全国一斉の活動で、石井町では全地区での清掃奉仕活動。（9／20）

老人大学…講座（7／10）と修学旅行。（7／15～16）で、学びと親睦を深めます

芸能大会…踊りやカラオケなど、日頃の練習の成果を披露します。（2月予定）

カラオケ大会…歌うことが大好きな会員が歌声を披露します。（6月・11月）

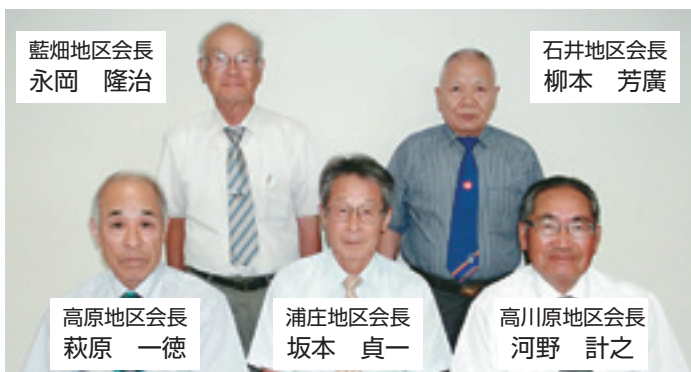
体育大会…5地区対抗。約12種目の競技で熱戦が繰り広げられます。（10／9）

グラウンドゴルフ大会…個人戦。日頃の練習の成果を一打に込めます。（年5回の大会）

ゲートボール大会…団体戦。チームプレーで練習の成果を競います。（年3回の大会）

各種の講習会…健康増進、介護予防、交通安全、生活安全等に関する学習会。

各地区会長紹介



会長・部長研修旅行

石井町ボランティア連絡協議会



会長 笹田典子

1. 地域密着の活動展開

地域の誰もが安心した暮らしが送れるまちづくりのために、地域サポーターとして、日頃のボランティア活動を子どもたちや地域の方々と共に活動展開しています。

2. 住民への啓発活動

ボランティアに関する情報の発信。(情報誌・インターネット・有線放送等を活用した情報の発信等) 住民がボランティアを見て、知って、参加できるきっかけづくりを提供しています。

☆石井町社会福祉協議会ホームページアドレス

<http://www.nmt.ne.jp/~ishiivo/>

3. 連携・協働した活動の展開

行事や事業を行う際に、地域・学校・行政・ボランティアグループ間など、多様な連携をとって協働し、繋がりを持ちながら、幅の広い活動展開を図っています。

4. ボランティア活動保険・行事保険の受付

安心してボランティア活動ができるように、ボランティア保険及び各行事に対する行事保険の手続きを行っています。

5. ボランティア活動に関する相談

ボランティアとして活動したい人やグループ・団体からの相談を受けています。また、ボランティアの協力を求めている人や施設・団体からの相談も受けています。

◆平成26年度石井町ボランティア連絡協議会おもな活動予定

活 動 内 容	日 程	場 所
とくしまマラソン給水ボランティア 参加	4月20日(日)	吉野川南岸
みらいフェスタ in いいい2014 参加協力	5月18日(日)	OKいしいパーク
石井町一斉清掃(ゴミゼロ) 参加協力	5月25日(日)	町内全域
全国一斉河川清掃 参加協力	7月6日(日)	吉野川(第十堰)南岸
第4回飯尾川公園夏祭り2014 参加協力	8月2日(土)	OKいしいパーク
第23回全国ボランティアフェスティバルぎふ 参加	9月27日(土)・28日(日)	岐阜県
第32回石井町社会福祉大会 参加協力	10月予定	石井町中央公民館
第17回石井町ボランティアフェスティバル、第8回こども文化祭・美術展 開催	10月19日(日)	石井町中央公民館



石井ボランティアあすなる会

会長 笹田典子

「かかしとふれあい日本昔話や世界名作物語に学ぶ子育て支援」

3年前から「かかし」を製作し、現在まで10テーマの作品を展示しています。石井小学校、幼稚園の通学路に展示会場を借りて、子どもたちを招待して物語に関連した紙芝居や歌、腹話術などで楽しいひとときを過ごすイベントを開催しています。最近では核家族で祖父母と同居していない子どもたちが多く、昔話の中で語られている教訓などをいっしょに考えてみようとして実施しています。



10作品目の「おおきなかぶ」

石井町赤十字奉仕団



団長 吉岡 恵美子

石井町赤十字奉仕団は、5支部、238名の団員により活動をしています。年間の主な活動は、年始めの消防団出初め式への参加をはじめ、防災訓練時には災害用大釜を使用して炊き出しを行っています。その他、様々なイベント・行事に参加をしています。

隔年で実施される皇居勤労奉仕団に参加をしており、次回は平成27年5月の予定です。満年齢75歳以下で健康に自信のある方でしたら、どなたでも参加することができます。主に皇居内の除草作業に従事します。ご希望の方は石井町社会福祉協議会まで、お問い合わせください。

その他、街頭募金、献血事業への協力、高齢者生きがい対策、子育て支援事業に協力をしています。



石井町女性の会

会長 吉岡 恵美子

石井町女性の会が所属する徳島県婦人団体連合会は、昭和23年に結成されたる歴史ある団体です。

石井町の婦人会活動は、平成24年度から再び活動を始めています。年間の活動の主なものは、社会貢献と併せて会員の資質向上のため、エコライフ等の調査研究の実施、会員相互の交流親睦のため3世代交流芸能大会及び新年会、またスポーツの振興と健康増進を目的としてカローリング大会、その他、研修会、講演会にも積極的に参加をしています。

本年7月には石井中学校において、「戦争体験を語り継ぐ会」を中学生、一般の方、併せて300名を越す参加者により開催いたしました。

また、女性の立場の向上推進のため、県、県議会、自治体との意見交換も盛んに行っています。



石井町人権擁護委員会



会長 高橋 健吾

毎月第2木曜日の特設相談日とし、高川原福祉会館において、人権相談を行っております。その他、6月1日人権の日、人権座談会、人権の花、

総ぐるみ人権啓発研修時の特別相談など、人権啓発等を行っております。



石井町生活改善グループ



会長 河野 明美

石井町生活改善グループでは、とくしまマラソンでのそうめんの配布、ふじっこちゃん夏祭りへの出店、ボランティアフェスティバルへの出

店等、さまざまな事業を通してお互いに情報や技術の交換をはかり、堅実に農家の生活改善を促進することを目的とし、活動を行っております。



特定非営利活動法人 こどもねっといいい



理事長 仁木 喜久美

子育て親子が出会い、交流できる「子育てサロン」を月～金（土曜日は月1回）高川原教育センターにて実施しています。子育てに関する相談

や地域の子育て関連情報の提供、専門知識をもった講師による講習等を行い、年間延べ約7000人の親子が利用しています。



石井町農業後継者クラブ



会長 久米 美智也

石井町農業後継者クラブは、石井町の農業を活性化するために、いきがい農園・学童農園等の管理、ファームサービス（畑の草刈り）等を

実施すると共に、ふじっこちゃん夏祭りへの参加等を通じて、農業者と地域住民とのふれ合いのための活動も行っております。



石井町消費者協会



会長 高橋 佳代

石井町消費者協会は、消費生活に関する情報収集の提供、消費教育の推進、被害防止等の活動により、消費生活の安全を図るために以下の活動を行っています。

動を行っています。

1. 消費者知識の啓発及び研修、講習会などの開催
2. 消費者問題についての情報、資料の収集、配布
3. 生産、販売業者との意見交流及び関係団体との連絡提携
4. 消費生活相談

衣・食・住の安全安心を願って消費運動を展開しておりますので、町民の皆様方におかれましては、ご理解、ご協力の程よろしくお祈いします。



石井町国際交流協会



会長 遠藤 敦子

2014年サッカーワールドカップが開催されました。また、2020年には東京オリンピックが開催されます。海外へ企業が進出、国内では外国人労働者や留学生などが増え、日本でもグローバル人材の育成が必要になってきました。英語教育の改革を行えない会話能力の素地が重要視されていますが、会話だけではなく専門分野において各国との意見交換ができなければなりません。そのため相手の国の文化や宗教、生活等を理解する必要があります。

石井町国際交流協会では、昨年、ヨルダンとエジプトで活躍された先生方の講演会をしました。今年も、インドネシアなどの国々で活躍された方や外国の方の講演会を予定しています。また、日本語ボランティア養成講座を4ヵ月に亘って開催し、外国人への日本語の教え方を学んでいます。毎年3月には、徳島で活躍している外国人教師達によるAJETミュージカルの公演をし、約500人の方が町内外から来場しています。

徳島県では、約5,000人、75カ国の外国人が在留していますが、石井町国際交流協会では、諸外国の人々との交流や諸国について学ぶ機会を提供し、生活、文化、教育、宗教などの相互理解を深めていただきたいと思います。

将来、子ども達、大人達が国際社会で「日本人」として活躍し、世界の平和と繁栄に貢献していくことを切望しています。

将来、子ども達、大人達が国際社会で「日本人」として活躍し、世界の平和と繁栄に貢献していくことを切望しています。



石井町文化協会



会長 川口 幸雄

石井町文化協会は、石井町内に存在する文化団体の相互協調をはかり文化の伝承・創造・普及発展と町民の豊かな文化生活の向上に資することを目的とし、「文化祭」や「町民文芸誌」の発行などの活動を行っています。

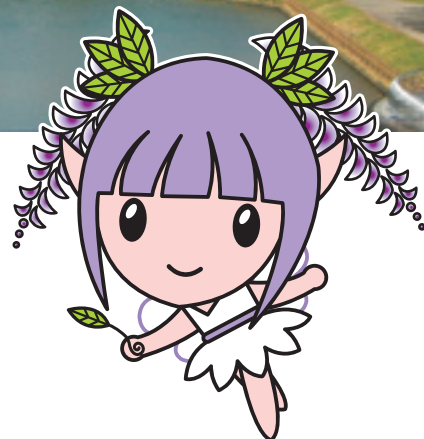


ふる里の歴史を学ぶ会



会長 岩本 光雄

ふる里の歴史を学ぶ会は、郷土の自然並びに文化を調査・研究し、郷土の文化の向上に貢献することを目的とし、学習会や会誌の発行、史跡の探訪や協同調査などの活動を行っています。



石井町には、今回ご紹介した団体をはじめ、様々な分野で活動・活躍されている各種団体があります。これからも、皆様のご理解・ご協力をいただきながら、石井町のますますの発展を目指します。

お問い合わせ先一覧

事業の内容などについて、お気軽におたずねください。

※メールによるお問い合わせは、info@town.ishii.lg.jp まで

石井町役場 本庁舎（石井町高川原字高川原121-1）

総務課	TEL(088) 674-1111	FAX(088) 675-1500
財政課	TEL(088) 674-7501	
出納課	TEL(088) 674-7502	
住民課	TEL(088) 674-1114	
税務課	TEL(088) 674-1115	
長寿社会課	TEL(088) 674-6111	
福祉生活課	TEL(088) 674-1116	
すくすく子育て課	TEL(088) 674-1623	
建設課	TEL(088) 674-1117	
いきいき農業振興課	TEL(088) 674-1118	
わくわく観光情報課	TEL(088) 674-1137	
いのちを守る防災・危機対策課	TEL(088) 674-1171	
議会事務局	TEL(088) 674-7500	
農業委員会	TEL(088) 674-7507	

石井町教育委員会 学校教育課 TEL(088) 674-7505

社会教育課 TEL(088) 674-7505

水道課（石井町高川原字高川原2111-4） TEL(088) 674-1141

保健センター（石井町石井字石井380-11） TEL(088) 674-0001

清掃センター（石井町石井字石井3025-1） TEL(088) 674-6842

学校給食センター（石井町石井字重松196-3） TEL(088) 675-1210

石井保育所（石井町石井字石井633-5） TEL(088) 674-0349

浦庄保育所（石井町浦庄字国実115-1） TEL(088) 674-6792

高原保育所（石井町高原字中島465） TEL(088) 674-3289

高川原保育所（石井町高川原字高川原202-1） TEL(088) 674-6849

石井幼稚園（石井町石井字石井1170-1） TEL(088) 674-1799

浦庄幼稚園（石井町浦庄字下浦481-1） TEL(088) 674-4042

高原幼稚園（石井町高原字東高原252-1） TEL(088) 674-4219

藍畑幼稚園（石井町藍畑字東覚円670） TEL(088) 674-4679

高川原幼稚園（石井町高川原字高川原1258） TEL(088) 674-3442

名西消防組合石井消防署（石井町高川原字高川原66-8） TEL(088) 674-6788

石井町社会福祉協議会（石井町高川原字高川原2112-3 クリーンセンター管理棟内）
..... TEL(088) 674-0139

郵便はがき

料金受取人払郵便

鴨島郵便局
承認
0866

差出有効期限
平成28年7月
31日まで
(切手不要)

776-8790

徳島県名西郡石井町高川原字高川原121ノ1

石井町役場

総務課行



幸せが訪れる町＝石井町

「ふじっこちゃんふるさと会」

①地福寺の藤



②吉野川「第十堰」



入会してね!

お待ちしております。

石井町
イメーજキャラクター
ふじっこちゃん

③弘法大師が幼い頃学んだ「童学寺」



④高川原「勇獅子」



- 関西ふるさと会に入会します ()
- 関東ふるさと会に入会します ()
(会費はいりません)

〒

住所

氏名

電話

お問合せ先 石井町役場 総務課 088-674-1111

石井町ふるさと会（愛称：石井町ふじっこちゃん会）

石井町では、関西地方及び関東地方に住む石井町に縁のある方が交流を図り、遠く離れた地で「ふるさと・石井町」を応援することを目的とし、関西地方と関東地方に「石井町ふるさと会（愛称：石井町ふじっこちゃん会）」の設立を計画しています。

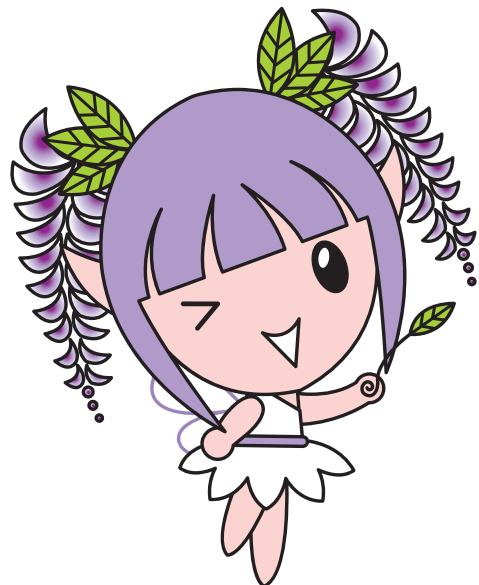
石井町ふるさと会に参加希望の方へ

関西地方及び関東地方にお住まいの方で、「石井町ふるさと会」へ参加を希望される方は、付属の「専用ハガキ」に必要事項をご記入の上お申し込みいただくか、石井町総務課（☎088-674-1111）までお電話でご連絡ください。

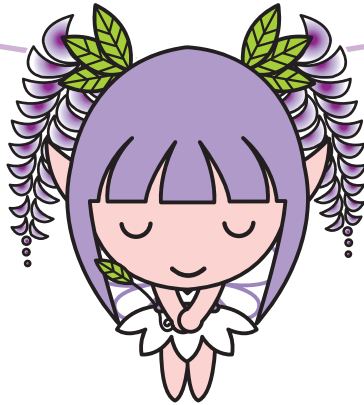
石井町民の皆様へ

町民の皆様のご親戚または知人の方で、関西地方及び関東地方にお住まいの方がいらっしゃるいましたら、「石井町ふるさと会」への参加を呼びかけるとともに、石井町役場総務課までご紹介ください。

※会費は必要ありません。



この予算書は、町民の皆様には石井町のことを
もっともっと知ってほしいとの思いでつくりました。
皆様からお預かりした大切な税金は1円たりとも
無駄にせず大切にに使わせていただいております。



平成26年度 石井町
わかりやすい予算書
&
もっと知りたい石井町

編集：石井町役場 わくわく観光情報課 発行：石井町

〒779-3295 徳島県名西郡石井町高川原字高川原 121-1 TEL.088-674-1137 FAX.088-675-1500
石井町ホームページ <http://www.town.ishii.lg.jp/> E-mail wakuwakukanko@town.ishii.lg.jp